



UPS 統合管理プログラム



NetpowerView GroupMGR

ユーザーズ・ガイド

ハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないで下さい。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談下さい。

使用許諾条項

本製品をご使用になる前に、下記の使用条件をよくお読み下さい。

ご使用になられた時点で、下記使用条件に同意して富士電機機器制御株式会社（以下富士電機といいます。）との間で契約が成立したものとさせていただきます。

1. 本製品およびその複製物に関する権利はその内容により富士電機または富士電機への提供者に帰属します。
2. 富士電機は、本製品のユーザ（以下ユーザといいます。）に対し、本製品に対応する富士電機製品を利用する目的で本製品を使用する非独占的権利を許諾します。
3. 富士電機および富士電機への提供者は、本製品がユーザの特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または本製品に瑕疵がないこと、その他製品に関していかなる保証もいたしません。
4. 富士電機および富士電機への提供者は、本製品の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
5. 本製品の使用による金銭上の損害、損失利益につきましては一切その責任を負いません。
6. 本製品の誤記等により生じた損害及び付随的損害については一切その責任を負いません。
7. ユーザは、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、本製品の全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。
8. 富士電機は、本製品について第三者からなされるいかなる権利主張に対しても一切その責任を負いません。
9. ユーザが、本契約に違反した場合には、本契約は直ちに終了するものとします。本契約の終了後は、ユーザは、本製品を使用してはいけません。
10. 富士電機は、改良のため、本製品の内容を予告なく変更することがあります。

目次

第 1 章 NetpowerView GroupMGR の概要	4
1.1. 特徴	4
1.2. システム構成	4
第 2 章 UPSView の登録操作概要	6
2.1. UPSView を起動する	6
2.2. データ収集へログインする	8
2.3. 監視対象の UPS エージェントを登録する	9
2.3.1. システム構成ツリーに新グループを追加	9
2.3.2. グループに監視対象の UPS を追加	10
2.4. ユーザを登録する	14
第 3 章 UPSView の主画面	18
3.1. UPSView の画面構成	18
3.2. システム構成画面	19
3.3. UPS 一覧情報画面	20
3.4. アウトプット画面	21
3.4.1. メッセージ	21
3.4.2. 故障情報	22
第 4 章 UPSView メニュー構成	23
4.1. [ファイル] メニューのコマンド	23
4.1.1. 保存	23
4.1.2. 印刷	23
4.1.3. 印刷プレビュー	24
4.1.4. プリンタの設定	24
4.1.5. アプリケーションの終了	24
4.2. [サーバ] メニューのコマンド	25
4.2.1. 接続	25
4.2.2. 再接続	26
4.2.3. 切断	26
4.2.4. サーバ情報	27
4.2.5. ログインユーザ	28
4.2.6. ユーザー一覧	30
4.2.7. IPアドレスフィルタ	35
4.3. [表示] メニューのコマンド	36
4.3.1. ツールバー	36
4.3.2. ステータスバー	37
4.3.3. システム構成の表示	37
4.3.4. アウトプット表示	37
4.3.5. 表示項目	38
4.4. [UPS] メニューのコマンド	39
4.4.1. 新しいグループ	39
4.4.2. 新しい UPS	40
4.4.3. 確認済みにする	42
4.4.4. 未確認にする	43
4.4.5. 新しい機器	44
4.4.6. 削除	44
4.4.7. プロパティ	45
4.4.8. スケジューラ設定	49

4.4.9. シャットダウン	49
4.4.10. 電源投入	49
4.4.11. ping.....	49
4.5. [設定] メニューのコマンド	50
4.5.1. 検索対象.....	50
4.6. [ヘルプ] メニューのコマンド	51
4.6.1. NetpowerView GroupMGR のヘルプ	51
4.6.2. バージョン情報	51
第 5 章 機能	52
5.1. 「ユーザ」について	52
5.2. 「スケジューラ設定」について	52
5.3. 「詳細モニタ」について	55
5.4. 「シャットダウン」について	56
5.5. 「電源投入」について	58
5.6. 「故障表示」について	59
5.7. SNMP	60
5.7.1. Web/SNMP カード	60
5.7.2. 他社製カード	61
第 6 章 トラブルシューティング	62
第 7 章 電子マニュアル 保存先	63

商標・登録商標について

- APC は、American Power Conversion Corporation の登録商標です。
- その他、本マニュアルに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- また、本文中では、TM,(R), ® マークは明記しておりません。

第1章 NetpowerView GroupMGR の概要

NetpowerView GroupMGR はデータ収集と UPSView で構成され、複数の無停電電源装置 (UPS) の状態を一括して監視することが可能です。更に、スケジュール設定、シャットダウンの操作を一括して実行できます。

1.1. 特徴

1. ネットワーク経由で最大25台の UPS を一覧監視し、運転状態やバッテリー寿命を一覧表に表示します。
2. NetpowerProtect シリーズや J シリーズの他、他社製 UPS も監視できます。
3. UPS グループを作成し、グループ内の UPS を同じスケジュールで運転することが簡単にできます。(NetpowerView F 使用時)
4. UPS に接続されたサーバやルータをツリー構造で示すため、UPS の ON/OFF による影響範囲がすぐにわかります。
5. 多くの機器が接続されたネットワークの中から、管理対象 UPS の検索・登録が簡単にできます。
6. ユーザ毎に監視対象の UPS を登録できます。

1.2. システム構成

NetpowerView GroupMGR のシステムは、以下のプログラムから構成されます。

[UPSView]	データ収集から UPS の情報を獲得し、表示します。 更に、NetpowerView GroupMGR ビューから一括してスケジュール設定を行えます。
[データ収集]	データ収集は、複数の UPS エージェントから UPS の情報を収集するプログラムです。 サービスとして動作するので表には出てきません。 サービス名称は、UPSDatasever です。 ポートは、49152 を開いて UPSView の接続を待ちます。
[UPS エージェント]	UPS と通信を行い、UPS の監視を行うソフトウェアです。 UPS エージェントには、以下の3つがあります。 <ul style="list-style-type: none">・ UPS 管理プログラム (UPSMAN)・ Web/SNMP カード・ 他社製カード
[UPS 管理プログラム]	NetpowerView F の UPS 管理プログラム (UPSMAN) です。 このプログラムは、UPS (NetpowerProtect) と通信を行い、UPS の状態を監視します。
[Web/SNMP カード]	UPS 本体に装着して UPS の管理を行うカードです。
[他社製カード]	UPS 本体に装着して UPS の管理を行う他社製のカードです。

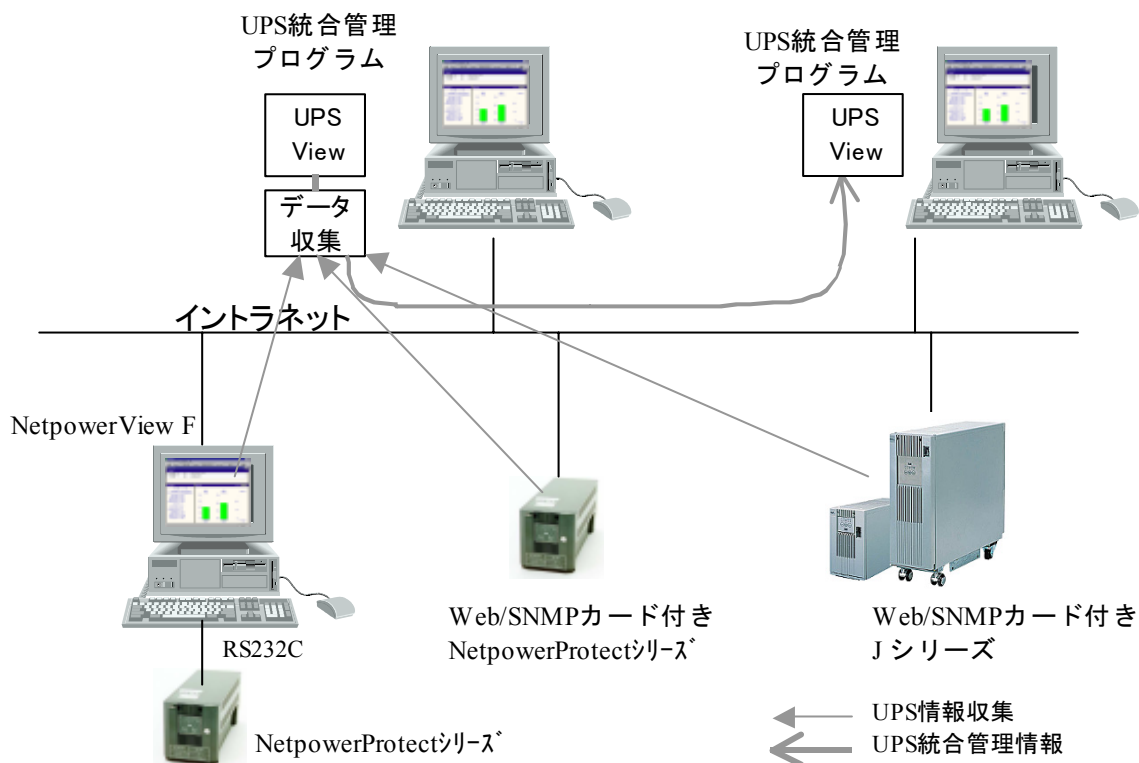


図 1-1 システム構成例

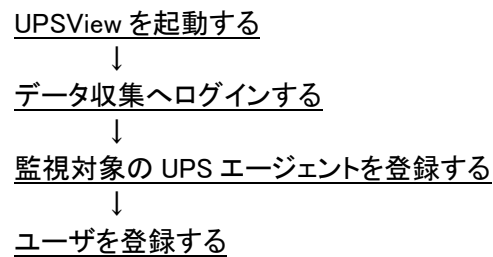
NetpowerView GroupMGRに対応する無停電電源装置(UPS)とUPS 管理プログラムを以下に示します。

- NetpowerProtect シリーズ + NetpowerView F(UPS 管理プログラム)
- NetpowerProtect シリーズ + Web/SNMP カード
- J シリーズ + Web/SNMP カード
- 他社製UPS + 他社製カード

重要
<ul style="list-style-type: none"> ・ Web/SNMP カード、他社製カードに対しては、スケジュール設定を実行できません。 ・ UPS 管理プログラムのシャットダウンには、NetpowerView F V5.0 以降が必要です。 ・ 他社製カードに対しては、シャットダウンを実行できません。 ・ 本ソフトで監視できる他社製UPS と 他社製カードとは、APC 社製のUPS と Network Management Card EX を示します。

第2章 UPSView の登録操作概要

NetpowerView GroupMGR を御利用になるための方法を説明します。
以下の手順で設定を行います。



2.1. UPSView を起動する

以下のように [スタート]—[プログラム]—[NetpowerView GroupMGR]—[UPSView]のアイコンで起動します。

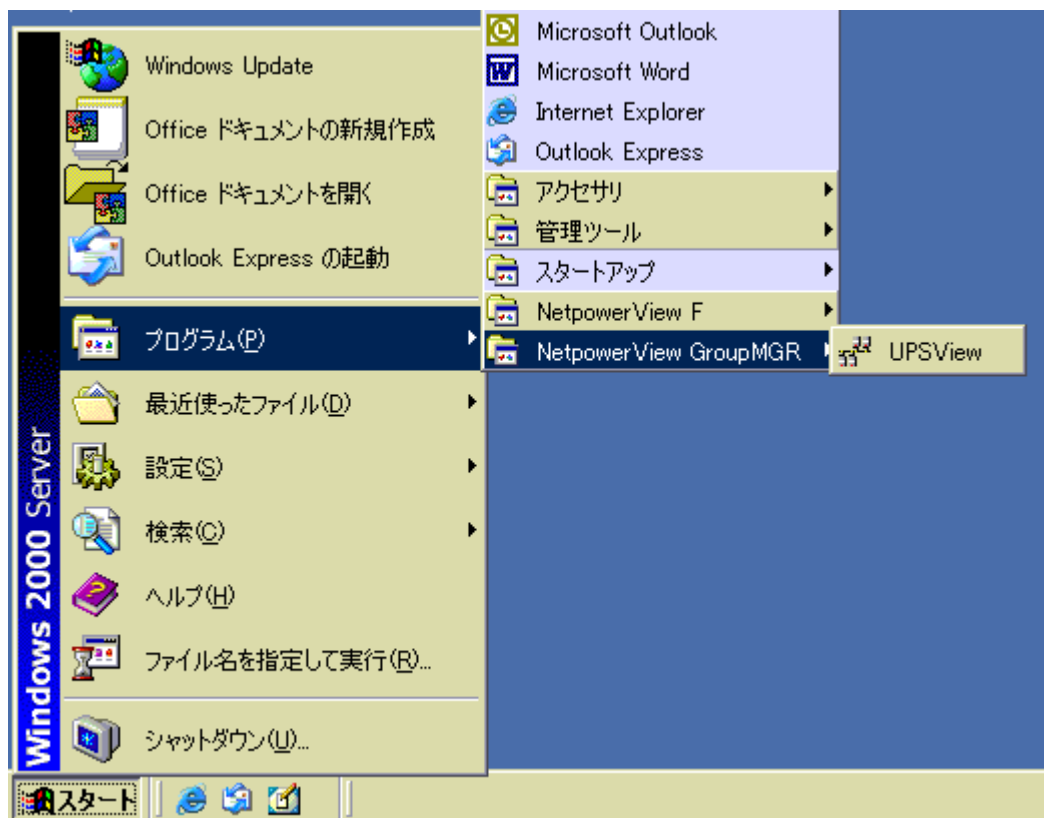


図 2-1 起動画面

2.2. データ収集へログインする

UPSView のメニューにある[サーバ]→[接続]をクリックして、データ収集へログインするダイアログを表示します。

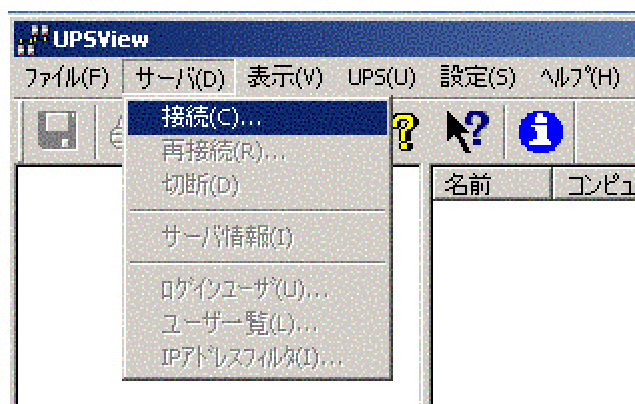


図 2-3 サーバ接続

次に、ログインするデータ収集を設定します。

- [検索]ボタンを押してデータ収集を選択してからログインするか、手動で[ログイン先]にデータ収集をインストールしたサーバの IP アドレスを入力してログインしてください。
- ユーザ名には、“admin”、パスワードは、“admin”を入力して、[OK]ボタンを押してください。

設定の詳細は、[4.2.1 接続](#)を参照願います。

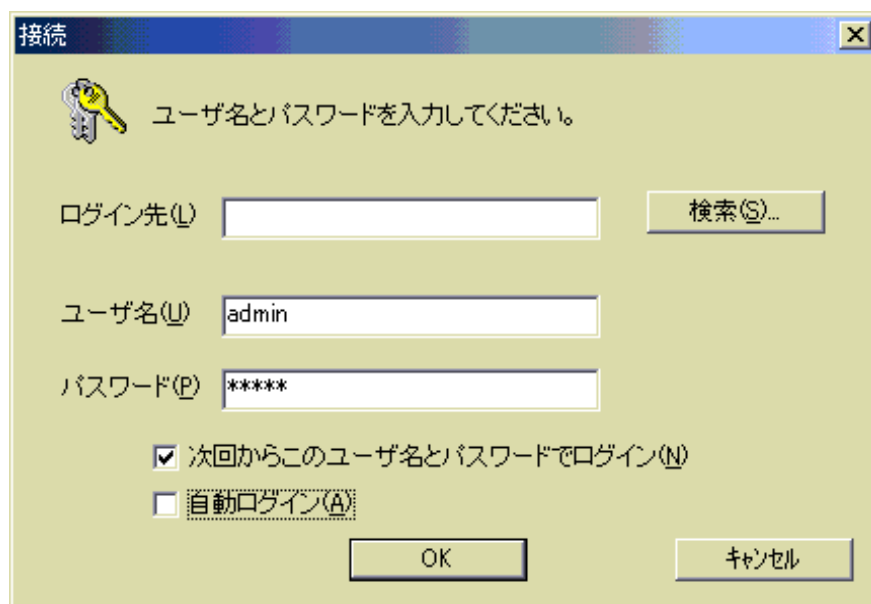


図 2-4 ログイン画面

重要

- ・ ログイン先を指定しない場合（空白）は、localhost (IP: 127.0.0.1) のデータ収集に接続します。
- ・ データ収集には、初期設定で管理者としてユーザ名 “admin”、パスワード “admin” というユーザが存在します。最初に、データ収集に “admin” でログインした後、すぐにユーザ名、パスワードの変更をすることを推奨致します。
- ・ 検索対象ネットワークは、UPSView が起動しているネットワークです。それ以外のネットワークでデータ収集が動作している場合は、4.5.1 検索対象にてネットワークの追加をしてください。

2.3. 監視対象の UPS エージェントを登録する

データ収集へログインが成功した後は、グループの追加や監視対象の UPS エージェントの追加を行います。

2.3.1. システム構成ツリーに新グループを追加

- ・ システム構成ツリーの一番上にある “root” を選択してください。
- ・ 次に [UPS] - [新しいグループ] を選択してください。

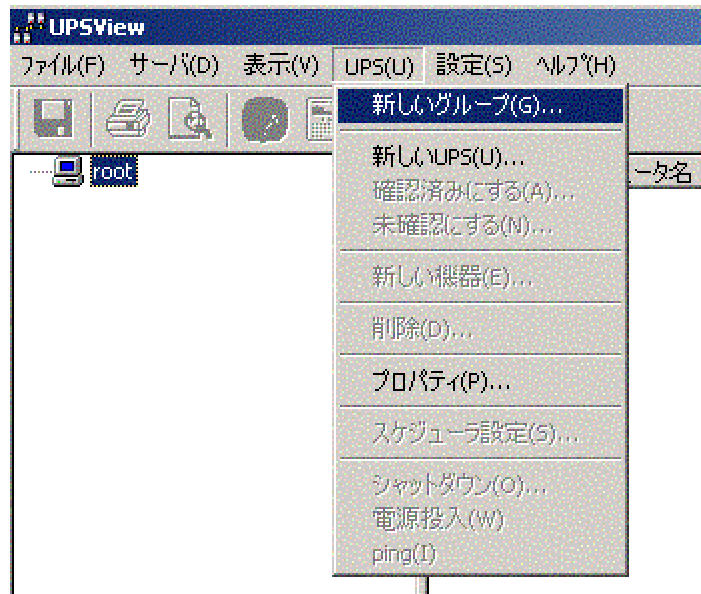


図 2-5 新しいグループ

- 新グループの追加を行うダイアログが表示されます。
- グループ名及びコメントを入力し、[OK]をクリックしてください。

ここでは、グループ名に“グループ1”と入力する例を示します。

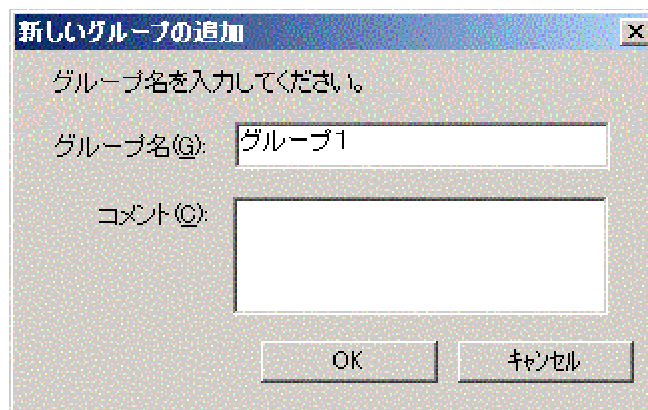


図 2-6 新しいグループの追加

重要
<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ名、コメントには、日本語の文字列を使用することができます。 ・ グループ名には、“.”(ピリオド)は使用できません。 ・ 同一名称のグループ名は、登録できません。 ・ グループ名の最大文字数は、半角 63 文字(全角 31 文字)まで記述できます。 ・ コメントの最大文字数は、半角 255 文字(全角 127 文字)まで記述できます。

2.3.2. グループに監視対象の UPS を追加

- 追加したグループ“グループ1”を選択してください。
- 次に[UPS]―[新しい UPS]を選択してください。



図 2-7 新しい UPS

- 新しい UPS を追加するダイアログが表示されます。

図 2-8 新しい UPS 追加

- 手動で監視対象の UPS エージェントを追加する場合は、上記画面でそれぞれの項目 (IP アドレス・UPS 名・UPS エージェントのタイプ) を入力してください。
- 既に UPS エージェントが動作している場合は、[検索一覧からの追加] ボタンを押して、追加する監視対象 UPS にチェックをつけて [OK] ボタンを押してください。
設定の詳細は、[4.4.2 新しい UPS](#) を参照願います。

IPアドレス	ホスト名	ロケーション名	UPS型式	UPSEージェント
<input type="checkbox"/> 10.55.140.232	TLG140...	local	NetpowerProtect 1400VA	UPSMAN
<input type="checkbox"/> 10.55.140.75	TLG140...	53r39nt	FUJI M-SPS005	UPSMAN
<input type="checkbox"/> 10.55.140.33	tlgupste...	Unknown	NetpowerProtect 500VA	UPSMAN
<input type="checkbox"/> 10.55.140.31		SNMPCard-193	NetpowerProtect 700VA	Web/SNMP

図 2-9 UPS 選択画面

重要

- UPS名の最大文字数は、半角 63 文字 (全角 31 文字) まで記述できます。
- UPS名には、“.” (ピリオド) は使用できません。
- 同一名称のUPS名は、登録できません。(大文字、小文字は区別しません。)
- UPS エージェントが動作していない場合は、[検索一覧からの追加] から UPS エージェントを検索できません。
- 他社製カードは、「検索一覧から追加」では追加できません。手動で登録してください。
- Web/SNMP カードを登録する場合は、事前に Web/SNMP カードの [SNMP 設定] の [SNMP マネージャと Read/Write 許可属性の設定] にデータ収集の [IP Address] を設定し、[Read]、[Write] にチェックを入れる必要があります。他社製カードを登録する場合も同様に、事前に他社製カードの SNMP 設定をする必要があります。
- データ収集モジュールと別のセグメントに UPS がある場合は、[設定] - [検索対象] - [UPS エージェント] で 検索対象 のネットワークを追加する必要があります。

- [登録 UPS のパスワード確認]ダイアログが表示されます。

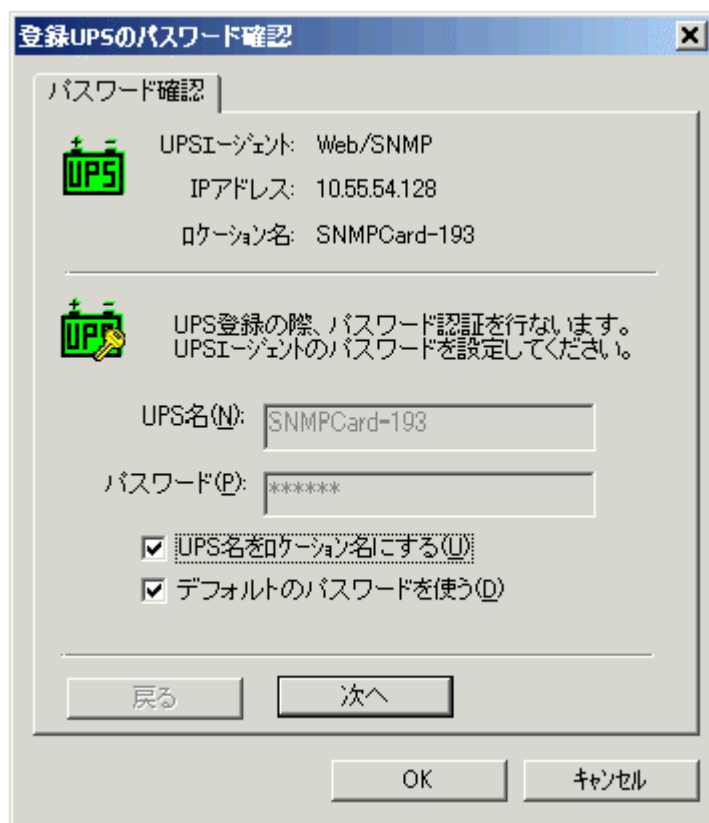


図 2-10 登録 UPS のパスワード確認

[UPS 名]	UPS 名を変更した場合は、新 UPS 名を入力してください。
[パスワード]	パスワードを入力してください。
[UPS 名をロケーション名にする]	UPS エージェントを検索した場合、その検索結果を使用する場合は、ここをチェックしてください。
[デフォルトのパスワードを使う]	UPS を登録する場合、UPS エージェントがデフォルトのパスワードの場合は、ここをチェックしてください。
[戻る]	一つ前の UPS のパスワード確認に戻ります。
[次へ]	次の UPS のパスワード確認に進みます。
[OK]	NetpowerView GroupMGR に UPS を追加します。
[キャンセル]	処理を途中で中止することができます。

重要

- ・ UPS エージェントが UPS 管理プログラムの場合は、UPS 管理プログラムに設定されてあるパスワードを入力してください。(デフォルトは、FUJI です)
- ・ UPS エージェントが Web/SNMP カードの場合は、Web/SNMP カードの[SNMP 設定]の[SNMP マネージャと Read/Write 許可属性の設定]の[Community Name]をパスワードに入力してください。(デフォルトは、public です。) 他社製カードを登録する場合も同様に、SNMP のコミュニティ名をパスワードに入力してください。
- ・ パスワードの最大文字数は、半角 11 文字まで記述できます。

- NetpowerView GroupMGR に UPS を追加する時に、パスワードの照合に失敗した場合、[再入力確認]ダイアログが表示されます。

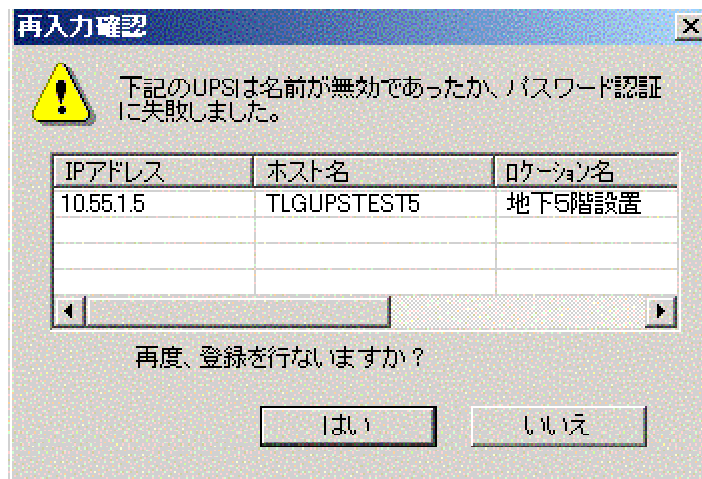


図 2-11 再入力確認

[はい] 再度、パスワードの入力をする場合は、このボタンを押してください。

[いいえ] 再登録処理をしない場合は、このボタンを押してください。

2.4. ユーザを登録する

管理者以外のユーザを登録する場合は、この作業を行ってください。

データ収集には、初期設定で管理者“admin”というユーザが既に存在しますので、新たにユーザを追加しなくても、管理者で NetpowerView GroupMGR をご利用できます。

- 管理者でデータ収集へログインを行います。
- 次に UPSView より、[サーバ]—[ユーザー一覧]を選択してください。

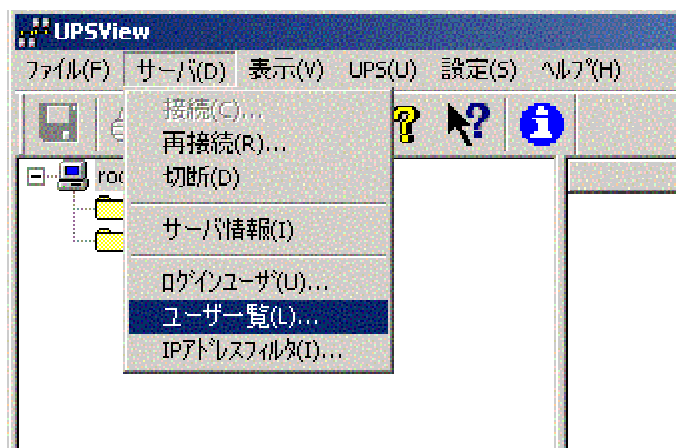


図 2-12 ユーザー一覧選択

- ユーザー一覧のダイアログが表示されます。
- [追加]ボタンを押してください。

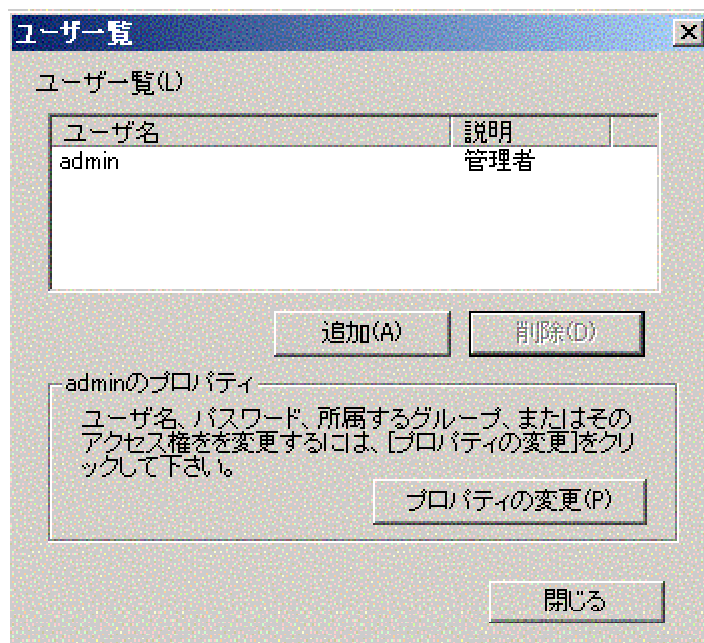


図 2-13 ユーザー一覧

- 新規ユーザ登録のダイアログが表示されます。
- 「ユーザ名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」を入力後、「所属するグループ」を追加するために[追加]ボタンを押してください。

新規ユーザ登録

ユーザ名(N):

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

所属するグループ(G)

グループ名	アクセス権

図 2-14 新規ユーザ登録

重要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一名称のユーザ名は、登録できません。(大文字、小文字は区別しません。) ・ ユーザ名の最大文字数は、半角 63 文字(全角 31 文字)まで記述できます。 ・ ユーザ名には、¥ / : ; , * ? < > “ は使用できません。又、ユーザ名の最初と最後に、空白文字は使用できません。 ・ パスワードの最大文字数は、半角 11 文字まで記述できます。

- 「グループの選択」ダイアログが表示されます。
- 登録したいグループとその属性（登録ユーザのアクセス権）を選択し、[追加]ボタンを押してください。
- 登録を取り消したい場合は、右側に表示されているグループを選択し、[削除]ボタンを押してください。
- 登録したいグループの追加と属性が決定したら、[OK]ボタンを押してください。

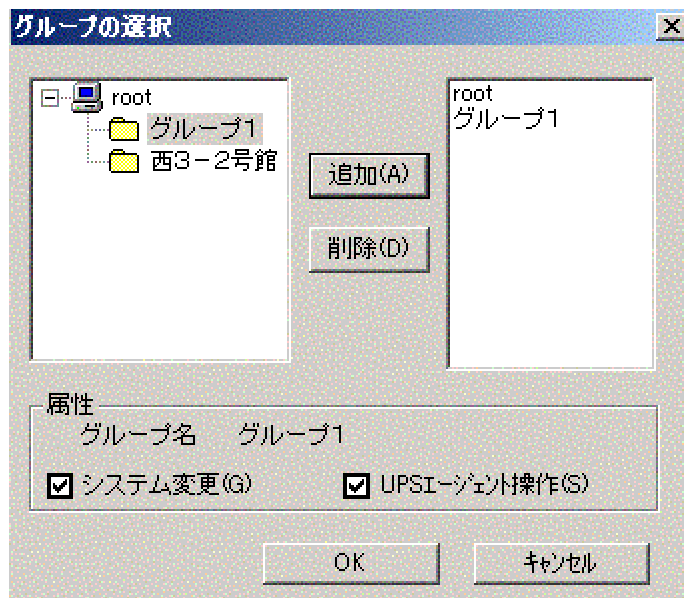


図 2-15 グループの選択

[システム変更]

対象グループに対して、UPS エージェントの追加・削除が行える権限を設定します。

[UPS エージェント操作]

対象グループの UPS エージェントに対して、スケジューラ設定、シャットダウン、電源投入を行える権限を設定します。

重要
<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセス権限は、データ収集“root”にも追加することができますが、“root”直下の UPS エージェントの権限となります。 ・ アクセス権限は、個別の UPS エージェント及び接続機器には設定できません。 ・ [システム変更]、[UPS エージェント操作]のいずれも選択しない場合は、“システム表示”のアクセス権のみとなります。 ・ “システム表示”のアクセス権限は、グループ(グループ内の UPS エージェント及び接続機器を含む)をUPSViewに表示する権限です。

- 「新規ユーザ登録」ダイアログの「所属するグループ」に、グループ名とアクセス権が追加されます。
- すべての設定終了後、[作成]ボタンを押してください。

新規ユーザ登録

ユーザ名(N):

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

所属するグループ(G)

グループ名	アクセス権
root	システム表示/変更;UPSエージェント操作
グループ1	システム表示/変更;UPSエージェント操作

追加(A) 削除(D)

作成 閉じる

図 2-16 新規ユーザ登録完了

- 「ユーザー一覧」に登録ユーザ名が追加されます。
- [閉じる]ボタンで、新規ユーザ登録を終了します。

ユーザー一覧

ユーザー一覧(L)

ユーザ名	説明
admin	管理者
guest	一般ユーザ

追加(A) 削除(D)

adminのプロパティ

ユーザ名、パスワード、所属するグループ、またはそのアクセス権を変更するには、[プロパティの変更]をクリックして下さい。

プロパティの変更(P)

閉じる

図 2-17 ユーザー一覧追加

第3章 UPSView の主画面

3.1. UPSView の画面構成

- 左上にある画面を“システム構成画面”といいます。
- 右上にある画面を“UPS 一覧情報画面”といいます。
- 下にある画面を“アウトプット画面”といいます。

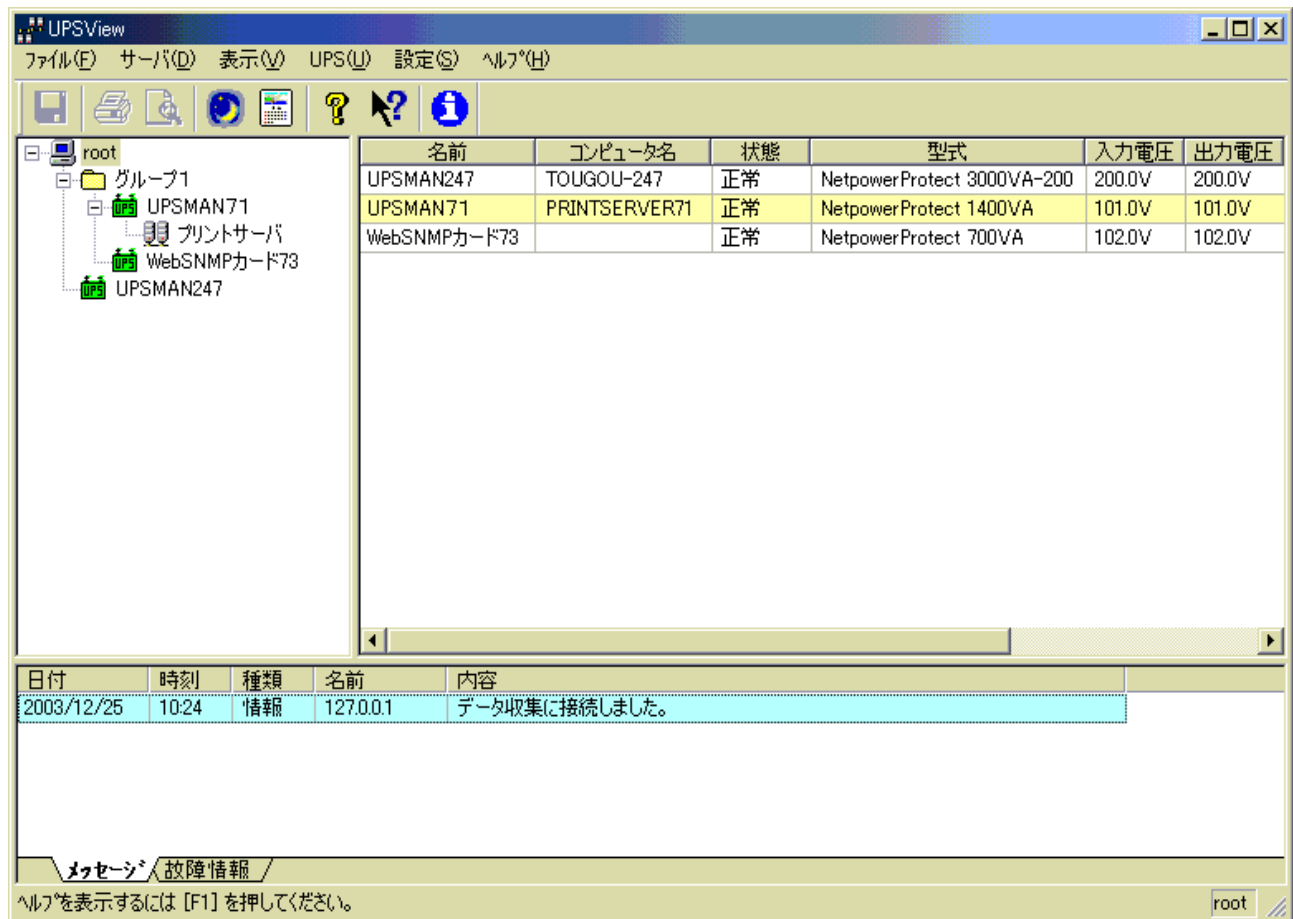


図 3-1 UPSView の主画面

- “システム構成画面”には、現在監視対象の UPS エージェントがツリー上に表示されます。
- “UPS 一覧情報画面”には、“システム構成画面”で選択したグループに登録されている UPS エージェントの情報が、表形式で表示されます。
- “アウトプット画面”には、“メッセージ”と“故障情報”の2つの画面があります。
 - “メッセージ”には、UPSView 上で操作した結果等の情報が表示されます。
 - “故障情報”には、監視対象中の UPS エージェントで現在発生している故障情報を表示します。

3.2. システム構成画面

システム構成画面には、データ収集、グループ、UPS エージェント、機器の4種類がツリー上に表示されます。

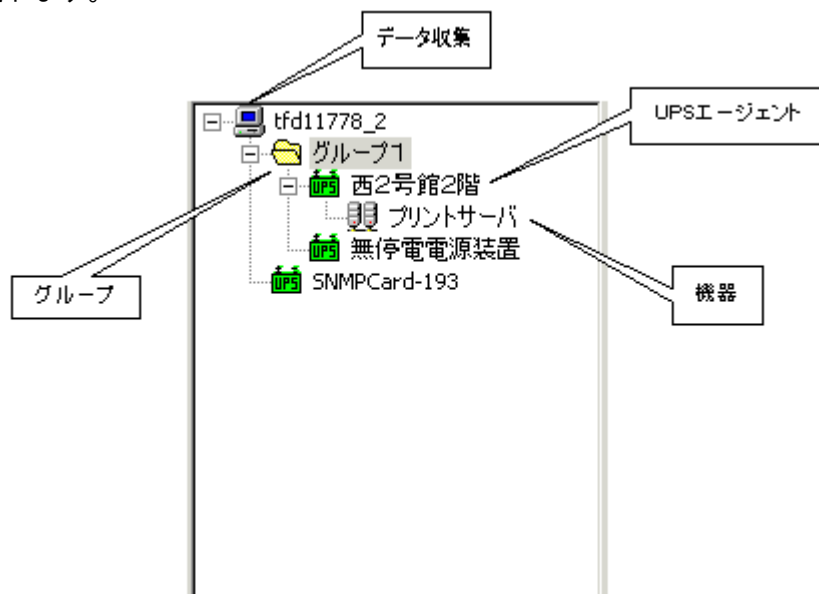


図 3-2 システム構成画面

- データ収集

ツリーの一番上にあるのが、データ収集です。

- グループ

グループの下には、UPS エージェントを置くことができます。

グループに設定したアクセス権は、そのグループ内の UPS エージェント全てに適応されます。

- UPS エージェント

UPS と通信を行い、UPS の監視を行うソフトウェアを表します。

故障が発生した場合は、アイコンの色が変化します。

UPS エージェントは、データ収集またはグループの下に作成できます。

- 機器

UPS エージェントの下に追加をする運用時の補助情報として利用します。

重要
<ul style="list-style-type: none">・ データ収集、グループ、UPS エージェント、機器の名前は、半角 63 文字(全角 31 文字)まで指定できます。・ データ収集、グループ、UPS エージェント、機器の名前には、“.”(ピリオド)は使用できません。・ グループ、UPS エージェントは、最大で 25 個登録できます。・ グループは、データ収集の下にしか作成できません(グループの下には、作成できません)。

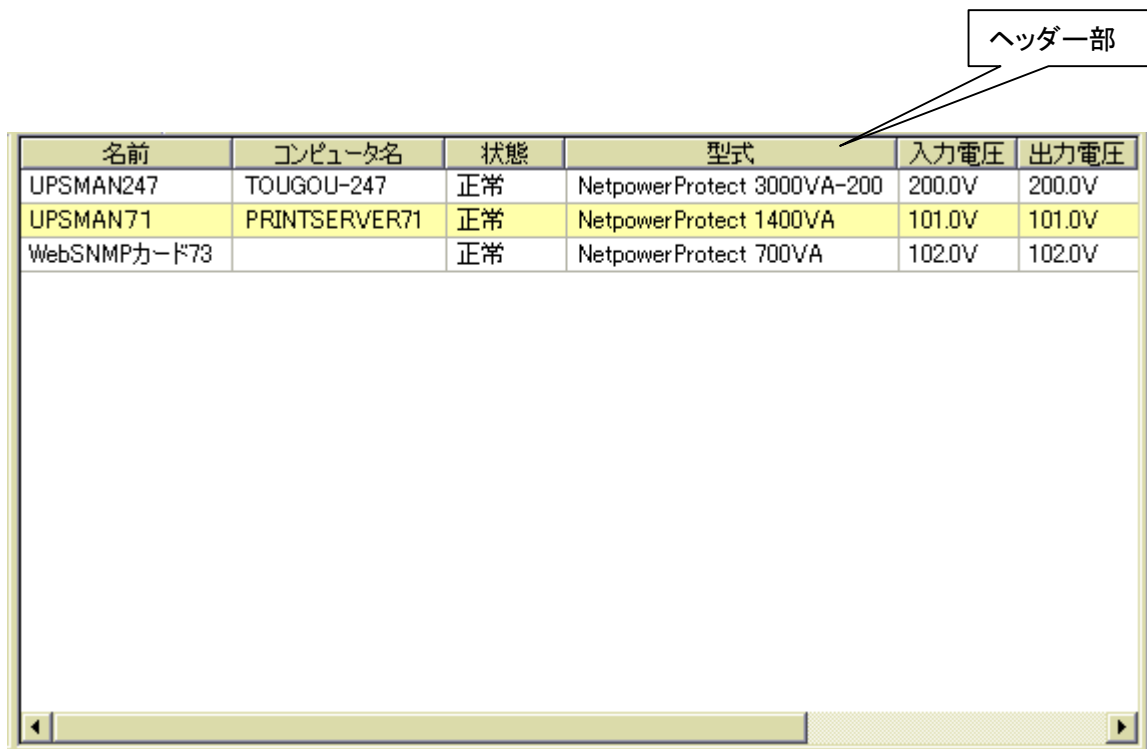
3.3. UPS 一覧情報画面

システム構成画面で選択されたグループの UPS 情報が表示されます。

ヘッダー部のカラムの大きさを変更すると、各項目の間隔が調整できます。

ヘッダー部をクリックするとソートを行います。

一覧情報の保存、印刷方法は、[4.1.1 保存](#)、[4.1.2 印刷](#)を参照してください。



名前	コンピュータ名	状態	型式	入力電圧	出力電圧
UPSMAN247	TOUGOU-247	正常	NetpowerProtect 3000VA-200	200.0V	200.0V
UPSMAN71	PRINTSERVER71	正常	NetpowerProtect 1400VA	101.0V	101.0V
WebSNMPカード73		正常	NetpowerProtect 700VA	102.0V	102.0V

図 3-3 UPS 一覧情報画面

- 印刷 UPS 一覧情報にフォーカスが当たっている状態で、[ファイル]－[印刷]を行うと、UPS 一覧情報が印刷可能です。
- 保存 UPS 一覧情報にフォーカスが当たっている状態で、[ファイル]－[保存]を行うと、UPS 一覧情報が CSV 形式で保存できます。
- 項目 表示項目を下記に示します。[名前]以外の項目は、表示の有無を指定できます。
名前、コンピュータ名、状態、型式、入力電圧、出力電圧、入力周波数、
負荷、バッテリー容量、出力周波数、バッテリー電圧、バッテリー温度、
バックアップ可能時間、平均算出日数、周温平均値、バッテリー寿命、
UPS 版数、UPS エージェント版数、時間、UPS 製造業者

重要

- 表示項目が多く、又、用紙が小さくて用紙からはみ出した分は印刷されません。[\[プリンタの設定\]](#)で印刷の向き等を調整し、[\[印刷プレビュー\]](#)で印刷イメージを確認ください。
- 表示項目の変更方法は、[4.3.5 表示項目](#)を参照してください。
- Web/SNMPカードのコンピュータ名は、空白となります。

3.4. アウトプット画面

アウトプット画面下のタブで、“メッセージ”と“故障情報”を切替表示します。

- 印刷 アウトプット画面にフォーカスが当たっている状態で、[ファイル]－[印刷]を行うと、表示されているメッセージあるいは故障情報が印刷可能です。
- 保存 アウトプット画面にフォーカスが当たっている状態で、[ファイル]－[保存]を行うと、表示されているメッセージあるいは故障情報が CSV 形式で保存できます。

3.4.1. メッセージ

UPSView 上で操作を行ったときの実行結果等を表示します。

日付	時刻	種類	名前	内容
2003/12/24	16:20	情報	127.0.0.1	データ収集に接続しました。
2003/12/24	16:20	情報	127.0.0.1	データ収集から切断しました。
2003/12/24	16:20	情報	127.0.0.1	データ収集に接続しました。

メッセージ

故障情報

ヘルプを表示するには [F1] を押してください。

root

図 3-4 メッセージ









- [日付] メッセージが発生した日付が表示されます。
表示形式: YYYY/MM/DD
 YYYY:年 MM:月 DD:日
- [時刻] メッセージが発生した時刻が表示されます。
表示形式: HH:MM
 HH:時間(24 時間表現) MM:分
- [種類] 情報、警告、エラーのメッセージ種類があります。
メッセージにより、種類、名前、内容の表示色は下記のようになります。
 情報:黒 警告:黄 エラー:赤
- [名前] データ収集のIPアドレス、グループ名、UPS 名等を表示します。
エラー等で該当する名前がない場合は、空白になります。
- [内容] 発生事象の内容を表示します。

重要

- メッセージには、UPSViewを起動した時からの情報が表示されます。
(UPSViewを閉じると表示メッセージはクリアされます。)
- 表示項目が多く、又、用紙が小さくて用紙からはみ出した分は印刷されません。[プリンタの設定]で印刷の向き等を調整し、[印刷プレビュー]で印刷イメージを確認ください。

3.4.2. 故障情報

UPSの故障情報、運転状態等の発生事象・時刻を表示します。

UPS名	グループ	故障	発生時刻	承認時刻	承認ユーザ
 UPSMAN71	グループ1	バッテリーテストOK	2003/12/24 16:42	--	
 WebSNMP73	グループ1	正常復帰	2003/12/23 15:02	--	
 		正常復帰	2003/12/23 15:02	--	
 		停止中	2003/12/23 15:01	--	
 		バックアップ中	2003/12/23 14:55	--	
 		正常復帰	2003/12/23 14:50	--	

メッセージ / 故障情報

ヘルプを表示するには [F1] を押してください。

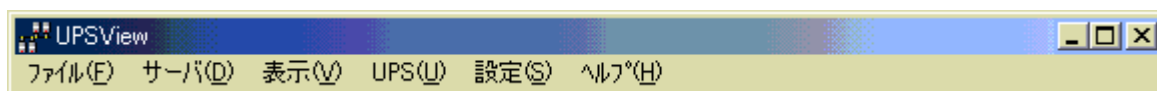
グループ1

図 3-5 故障情報

[UPS 名]	UPS 名を表示します。
[グループ]	グループ名を表示します。
[故障]	故障情報等のUPSの運転状態を表示します。
[発生時刻]	故障情報等が発生した日付と時刻を表示します。 表示形式: YYYY/MM/DD HH:MM YYYY:年 MM:月 DD:日 HH:時間(24 時間表現) MM:分
[承認時刻]	[確認済みにする] で事象を承認した日付と時刻を表示します。 表示形式: YYYY/MM/DD HH:MM YYYY:年 MM:月 DD:日 HH:時間(24 時間表現) MM:分
[承認ユーザ]	[確認済みにする] で事象を承認したユーザ名が表示されます。

重要
<ul style="list-style-type: none"> 故障情報の表示数は、最大1024行です。 (1024行を超えると、古い情報を削除して最新の情報を表示します。) 表示項目が多く、又、用紙が小さくて用紙からはみ出した分は印刷されません。[プリンタの設定]で印刷の向き等を調整し、[印刷プレビュー]で印刷イメージを確認ください。 [承認時刻]、[承認ユーザ]は、重故障などの承認の必要な事象のみ表示されます。 以下に承認の必要な事象を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 1) バッテリ電圧低下 2) 温度異常 3) 起動時入力異常 4) 出力電圧異常 5) バッテリ電圧異常 6) 中間電圧異常 7) 冷却ファン異常 8) バッテリ異常 9) バッテリテスト異常

第4章 UPSView メニュー構成



4.1. [ファイル] メニューのコマンド

4.1.1. 保存

アクティブ中の情報 (UPS 一覧情報・メッセージ・故障情報) を保存します。

UPS 一覧情報画面 (あるいはメッセージ・故障情報) を選択してから、[保存] コマンドを押すと、「保存」ダイアログボックスが表示され、アクティブ中の情報を (ファイル名を付けて CSV 形式で) 保存することができます。

(アクティブなウィンドウでない場合は、[保存] コマンドはマスクされます。)

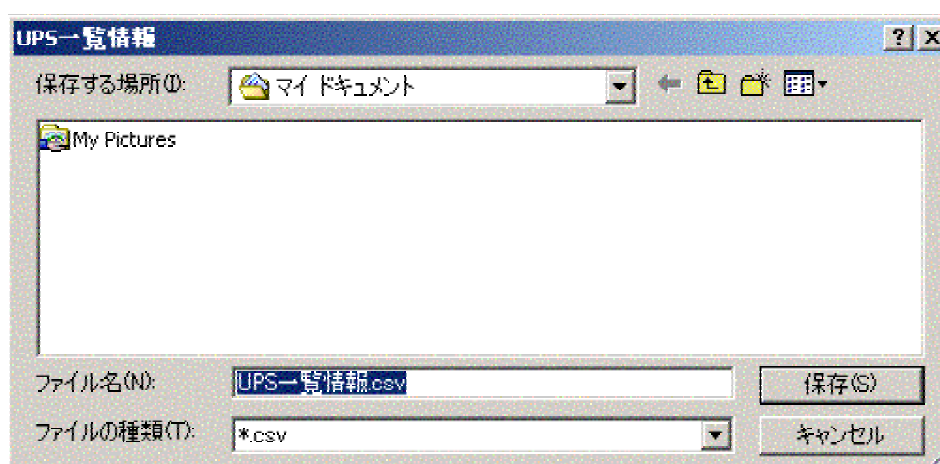


図 4-1 保存

4.1.2. 印刷

アクティブ中の情報 (UPS 一覧情報・メッセージ・故障情報) を印刷します。

UPS 一覧情報画面 (あるいはアウトプット画面のメッセージ・故障情報) を選択してから、[印刷] コマンドを押すと、「印刷」ダイアログボックスが表示され、アクティブ中の情報を印刷することができます。

(アクティブなウィンドウでない場合は、[印刷] コマンドはマスクされます。)

重要

- ・表示項目が多く、又、用紙が小さくて用紙からはみ出した分は印刷されません。[プリンタの設定]で印刷の向き等を調整し、[印刷プレビュー]で印刷イメージを確認ください。

4.1.3. 印刷プレビュー

アクティブ中の情報(UPS 一覧情報・メッセージ・故障情報)を印刷時のイメージで印刷プレビュー画面に表示します。

UPS 一覧情報画面(あるいはアウトプット画面のメッセージ・故障情報)を選択してから、[印刷プレビュー]コマンドを押すと、「印刷プレビュー」ダイアログボックスが表示され、アクティブ中の情報を印刷イメージで表示することができます。

(アクティブなウィンドウでない場合は、[印刷プレビュー]コマンドはマスクされます。)

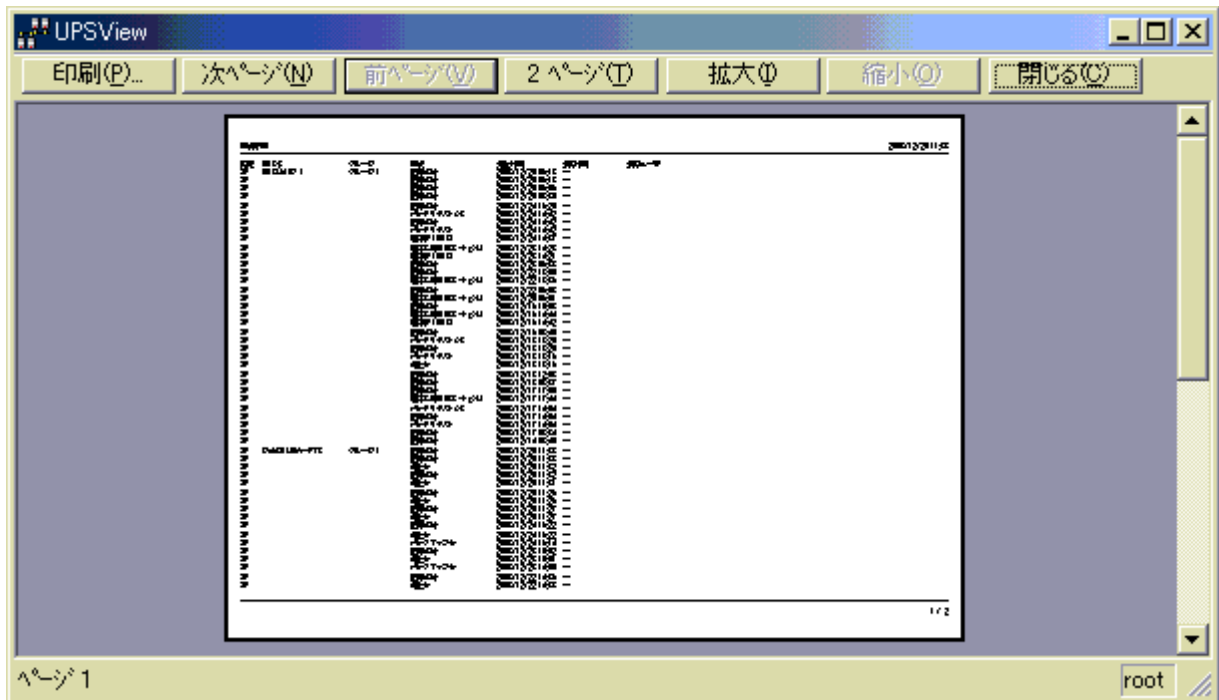


図 4-2 印刷プレビュー

印刷プレビュー画面はメインのウィンドウと入れ代わり、印刷時のイメージを表示します。

画面上部に表示される印刷プレビュー ツールバーを使って、1または2ページの画面表示の切り替え、表示するページの変更、表示の拡大縮小、印刷の開始などを行うことができます。

4.1.4. プリンタの設定

「プリンタの設定」ダイアログ ボックスを表示します。プリンタの選択やプロパティ、用紙の選択や印刷の向きを設定します。

4.1.5. アプリケーションの終了

UPSView での作業を終了します。

4.2. [サーバ] メニューのコマンド

4.2.1. 接続

データ収集に接続します。

図 4-3 接続ダイアログ

[ログイン先]	データ収集が動作しているサーバの IP アドレスを指定します。 ログイン先を指定しない場合（空白）は、UPSView が動作している コンピュータがログイン先になります。（IP アドレス: 127.0.0.1）
[ユーザ名]	データ収集に登録されてある、ユーザ名を入力します。
[パスワード]	ユーザが設定したパスワードを入力します。
[検索]	データ収集が動作しているコンピュータを検索します。
[次回からこのユーザ名とパスワードでログイン]	チェックすると、[ログイン先]、[ユーザ名]、[パスワード]は、 前回入力した値で[接続]ダイアログが表示されます。
[自動ログイン]	チェックすると、UPSView 起動時に、前回設定した[ログイン先]、 [ユーザ名]、[パスワード]でデータ収集に自動でログインします。 自動でデータ収集へのログインに失敗した場合は、 [接続]ダイアログが表示されます。
[OK]	設定を有効にして、ダイアログを閉じます。
[キャンセル]	変更された設定を無効にして、ダイアログを閉じます。

- [検索]ボタンを押すことにより、データ収集検索が開始します。
- [ログイン先データ収集一覧]に表示されているデータ収集の検索結果から、ログインするデータ収集を選択し[OK]ボタンを押すと、図 4-3 接続ダイアログに戻り、選択したデータ収集の IP アドレスが、[ログイン先]に表示されます。



図 4-4 データ収集検索

[ログイン先] [ログイン先データ収集一覧]に表示された検索結果を選択すると、そのデータ収集が動作しているサーバの IP アドレスを表示します。

[[ログイン先データ収集一覧] データ収集検索の検索結果を表示します。

[IP アドレス] データ収集が動作しているサーバの IP アドレスを表示します。
 [データ収集の版数] データ収集のソフトウェア版数(バージョン)を表示します。
 [OS] データ収集が動作しているサーバの OS を表示します。

[OK] 選択したデータ収集をログイン先にして、ダイアログを閉じます。

[キャンセル] 検索結果・選択を無効にして、ダイアログを閉じます。

重要
<p>・ UPSView が動作している以外のネットワークに存在するデータ収集を検索するためには、[設定]ー[検索対象]ー[データ収集]で<u>検索対象</u>のネットワークを追加する必要があります。</p>

4.2.2. 再接続

データ収集と再度接続します。

別のデータ収集、又は、別のユーザでログインする場合にご利用ください。

4.2.3. 切断

データ収集との通信を切断します。

4.2.4. サーバ情報

[サーバ情報]コマンドを実行すると以下のような情報を表示します。

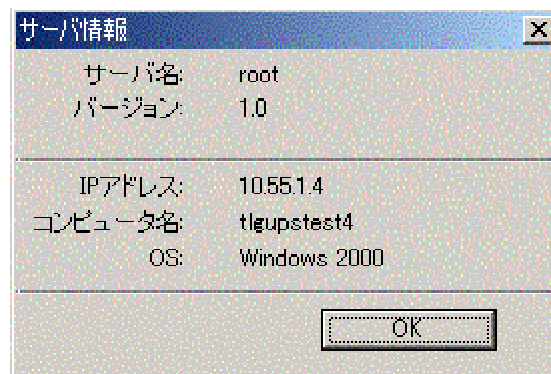


図 4-5 サーバ情報

[サーバ名]	データ収集が動作しているサーバ名を表示します。
[バージョン]	データ収集のソフトウェア版数(バージョン)を表示します。
[IP アドレス]	データ収集が動作しているサーバの IP アドレスを表示します。
[コンピュータ名]	データ収集動作しているサーバのコンピュータ名を表示します。
[OS]	データ収集が動作しているサーバの OS を表示します。
[OK]	ダイアログを閉じます。

重要

- ・ データ収集のサーバ名は、“root”がデフォルトとなっています。変更する場合は、4.4.7(1) [グループプロパティ]で変更できます。
- ・ 試用版で運用している場合には、バージョンの下に「試用版」と表示されます。

4.2.5. ログインユーザ

データ収集にログインしているユーザの情報を表示します。

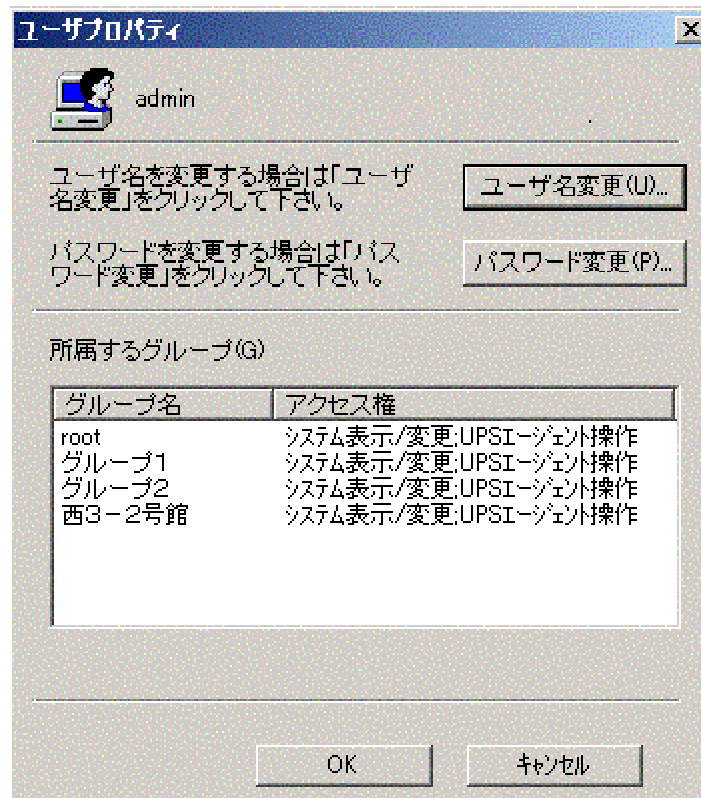


図 4-6 ユーザプロパティ

- | | |
|------------|-------------------------------|
| [ユーザ名変更] | ユーザ名を変更できます。 |
| [パスワード変更] | パスワードを変更できます。 |
| [所属するグループ] | ユーザが操作可能なグループの一覧を表示します。 |
| [グループ名] | ログインしたデータ収集を含む、グループの名称を表示します。 |
| [アクセス権] | グループ毎に設定されたアクセス権を表示します。 |
| [OK] | 設定の変更を有効にして、ダイアログを閉じます。 |
| [キャンセル] | 設定の変更を無効にして、ダイアログを閉じます。 |

- [ユーザ名変更]ボタンを押すことにより、ユーザ名を変更できます。

図 4-7 ユーザ名変更

- | | |
|---------|-------------------------|
| [新しい名前] | 新しいユーザ名を入力してください。 |
| [OK] | ユーザ名を変更して、ダイアログを閉じます。 |
| [キャンセル] | ユーザ名を変更しないで、ダイアログを閉じます。 |

- [パスワード変更]ボタンを押すことにより、パスワードを変更できます。

図 4-8 パスワード変更

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| [新しいパスワード] | 新しいパスワードを入力してください。 |
| [新しいパスワードの確認入力] | [新しいパスワード]に入力したパスワードと同じ文字列を入力してください。 |
| [OK] | パスワードを変更して、ダイアログを閉じます。 |
| [キャンセル] | パスワードを変更しないで、ダイアログを閉じます。 |

重要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一名称のユーザ名は、登録できません。(大文字、小文字は区別しません。) ・ ユーザ名の最大文字数は、半角 63 文字(全角 31 文字)まで記述できます。 ・ ユーザ名には、¥ / : ; , * ? < > “ は使用できません。又、ユーザ名の最初と最後に、空白文字は使用できません。 ・ パスワードの最大文字数は、半角 11 文字まで記述できます。

4.2.6. ユーザー一覧

登録されているユーザの一覧情報を表示します。

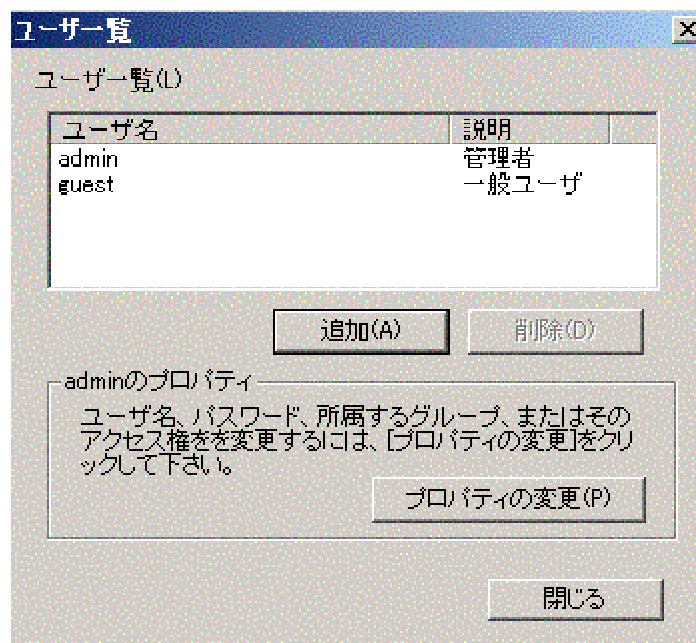


図 4-9 ユーザー一覧

- [追加] ユーザを新規に追加します。
図 4-10 新規ユーザ登録の画面が開きます。
- [削除] 登録ユーザを選択して削除します。
- [プロパティの変更] 選択されているユーザの設定内容を変更します。
図 4-12 ユーザプロパティの変更の画面が開きます。
- [閉じる] 「ユーザー一覧」ダイアログを閉じます。

重要

- ・ ユーザの追加・削除を行うためには、管理者“admin”でデータ収集にログインする必要があります。
- ・ 管理者“admin”は1ユーザのみで、削除・追加はできません。
- ・ 管理者“admin”は、データ収集に“admin”でログインした後、すぐにユーザ名、パスワードの変更をすることを推奨致します。
- ・ 登録できるユーザは、管理者“admin”を含めて5ユーザです。

- [追加]ボタンを押すことにより、新しくユーザを登録できます。

図 4-10 新規ユーザ登録

[ユーザ名]	新しく登録するユーザ名を指定します。
[パスワード]	新パスワードを設定します。
[パスワードの確認入力]	[パスワード]に入力したパスワードと同じ文字列を入力してください。
[所属するグループ]	ユーザが操作可能なグループの一覧を表示します。
[グループ名]	所属するグループの名称を表示します。
[アクセス権]	グループ毎に設定されたアクセス権を表示します。
[追加]	所属するグループを追加します。
[削除]	所属するグループを削除します。
[作成]	新規にユーザを作成して、ダイアログを閉じます。
[閉じる]	ダイアログを閉じます。

重要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一名称のユーザ名は、登録できません。(大文字、小文字は区別しません。) ・ ユーザ名の最大文字数は、半角 63 文字(全角 31 文字)まで記述できます。 ・ ユーザ名には、¥ / : ; , * ? < > “ は使用できません。又、ユーザ名の最初と最後に、空白文字は使用できません。 ・ パスワードの最大文字数は、半角 11 文字まで記述できます。

- [新規ユーザ登録]の[追加]で、新規ユーザの所属グループと権限を追加できます。



図 4-11 グループの選択

[追加]	所属するグループを追加します。
[削除]	所属しているグループを削除します。
[属性]	選択したグループのグループ名とアクセス権を表示します。
[システム変更]	対象グループに対して、UPS エージェントの追加・削除が行える権限を設定します。
[UPSエージェント操作]	対象グループの UPS エージェントに対して、スケジューラ設定、シャットダウン、電源投入を行える権限を設定します。
[OK]	設定の変更を有効にして、ダイアログを閉じます。
[キャンセル]	設定の変更を無効にして、ダイアログを閉じます。

- [ユーザー一覧]の[プロパティの変更]で、所属グループと権限を追加・変更・削除できます。

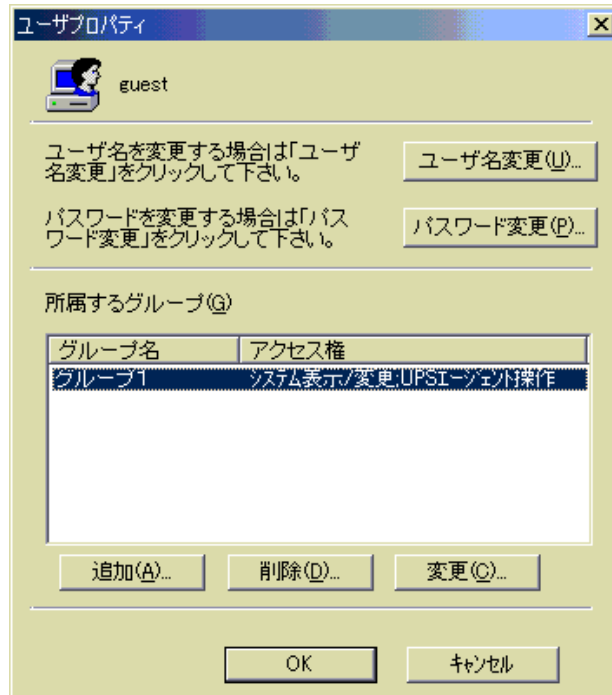


図 4-12 ユーザプロパティの変更

- [ユーザ名変更] ユーザ名を変更できます。
- [パスワード変更] パスワードを変更できます。
- [所属するグループ] ユーザが操作可能なグループの一覧を表示します。
- [グループ名] 所属するグループの名称を表示します。
- [アクセス権] グループ毎に設定されたアクセス権を表示します。
- [追加] 所属するグループを追加します。
- [削除] 所属しているグループを削除します。
- [変更] 対象グループのアクセス権を変更できます。

図 4-11 グループの選択の画面が開きます。

図 4-13 アクセス権変更の画面が開きます。

- [ユーザプロパティ]で[所属するグループ]を選択し、[変更]ボタンを押すと、選択したグループのアクセス権を変更できます。

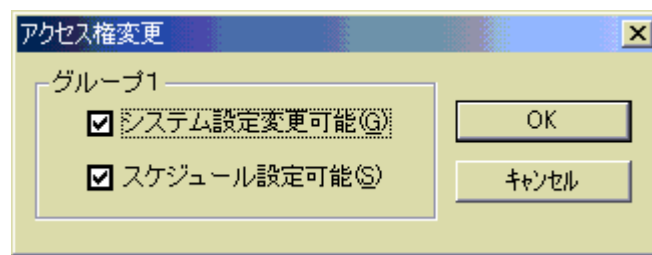


図 4-13 アクセス権変更

[システム設定変更可能]

対象グループに対して、UPS エージェントの追加・削除が行える権限を設定します。

[スケジュール設定可能] （UPS エージェント操作）

対象グループの UPS エージェントに対して、スケジューラ設定、シャットダウン、電源投入を行える権限を設定します。

[OK]

設定の変更を有効にして、ダイアログを閉じます。

[キャンセル]

設定の変更を無効にして、ダイアログを閉じます。

重要
<ul style="list-style-type: none"> ・ “システム表示”のアクセス権は、登録したグループに自動的に付加されます。 ・ [システム設定変更可能]のアクセス権を付加した場合、<u>図 4-12 ユーザプロパティの変更の[アクセス権]</u>の表示は、“システム表示／変更”となります。 ・ [スケジュール設定可能]のアクセス権を付加した場合、<u>図 4-12 ユーザプロパティの変更の[アクセス権]</u>の表示に“UPS エージェント操作”が追加されます。

4.2.7. IPアドレスフィルタ

データ収集に接続可能な UPSView の IP アドレスを設定します。

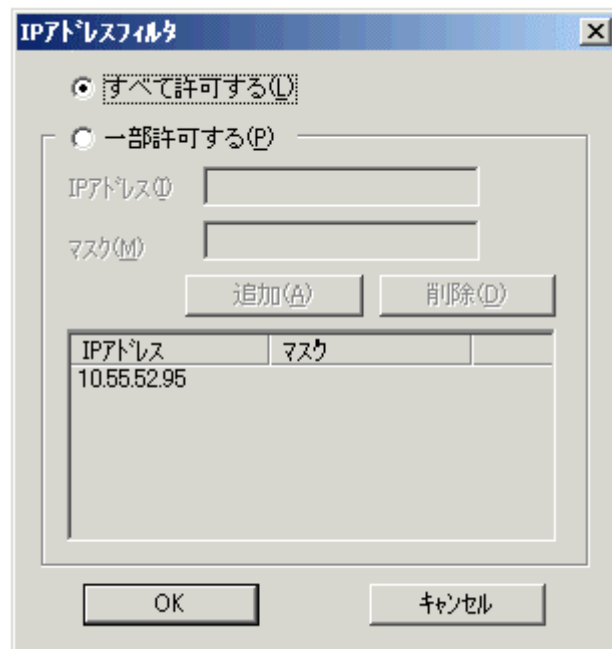


図 4-14 IPアドレスフィルタ

[すべて許可する]	全ての IP アドレスからの接続を許可します。				
[一部許可する]	設定されている IP アドレスのみ接続を許可します。				
[IP アドレス]	データ収集に接続を許可する IP アドレスを入力します。 記述した IP アドレスは、[追加]ボタンで追加してください。				
[マスク]	ある範囲内で、接続を許可する場合に使用します。 例： 10.55.51.1～10.55.51.254 までの範囲で接続を許可する場合は、 以下のように設定します。 <table><tr><td>IP アドレス</td><td>10.55.51.0</td></tr><tr><td>マスク</td><td>255.255.255.0</td></tr></table>	IP アドレス	10.55.51.0	マスク	255.255.255.0
IP アドレス	10.55.51.0				
マスク	255.255.255.0				
[追加]	データ収集に接続を許可する IP アドレスを追加します。				
[削除]	データ収集に接続を許可する IP アドレスを削除します。				
[OK]	設定を有効にし、ダイアログを閉じます。				
[キャンセル]	設定を無効にし、ダイアログを閉じます。				

重要

- ・ IPアドレスフィルタは、最大 5 アドレス登録できます。
- ・ Localhost (IP アドレス: 127.0.0.1) は、IPアドレスフィルタの対象外となります。
- ・ IP アドレスフィルタの設定によって、データ収集に接続できなくなった場合は、データ収集をインストールしたサーバ (localhost) の UPSView からログインしてください。

4.3. [表示] メニューのコマンド

4.3.1. ツールバー

ツールバーの表示、非表示を切り替えます。

ツールバーには、[印刷]などのメニューと同じ機能を持ったツールバーが含まれています。

ツールバーが表示されているときは、このコマンド名の横にチェックマークが表示されます。

ツールバー



ツールバーは、アプリケーション ウィンドウ上部で、メニュー バーのすぐ下に表示されます。UPSView 内で使用する多くのツールをマウスでクリックして操作できます。

[保存]



選択中の情報を保存します。

[印刷]



選択中の情報を印刷します。

[印刷プレビュー]



作業中の情報の印刷イメージを表示します。

[シャットダウン]



シャットダウン処理を行います。

[スケジュール設定]



スケジューラの設定を行います。

[ヘルプ]



NetpowerView GroupMGR の目次画面を表示します。

[ポップヒント]



マウスポインタを変化させ、わからないところをクリックすると説明が出力します。

[バージョン情報]



バージョン情報を表示します。

4.3.2. ステータスバー

ステータス バーの表示、非表示を切り替えます。

ステータス バーには、メニュー コマンドやツールバーのボタンを選択したときにコマンドの簡単な説明が表示されます。

ステータス バーが表示されているときは、このコマンド名の横にチェックマークが表示されます。

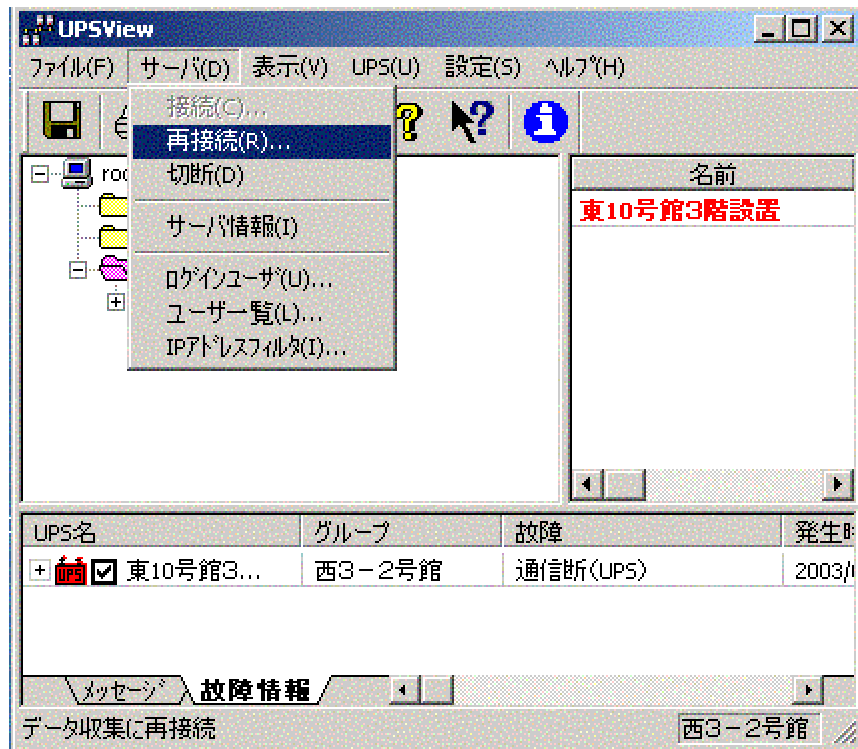


図 4-15 ステータス バー

ステータスバーは、UPSView のウィンドウの一番下に表示されます。

ステータスバーの左側の部分には、メニューコマンドを選択したときにそれぞれの簡単な説明が表示されます。ステータスバーの右側の部分には、データ収集の“サーバ名”、又は現在選択中の“グループ名”が表示されます。

4.3.3. システム構成の表示

システム構成の表示、非表示を切り替えます。

システム構成が表示されているときは、このコマンド名の横にチェックマークが表示されます。

4.3.4. アウトプット表示

アウトプットの表示、非表示を切り替えます。

“メッセージ”と“故障情報”のアウトプットが表示されているときは、このコマンド名の横にチェックマークが表示されます。

4.3.5. 表示項目

UPS 一覧情報画面に表示する項目を選択します。

UPS 一覧情報画面の[名前]以外の項目について、「表示項目の選択」ができます。

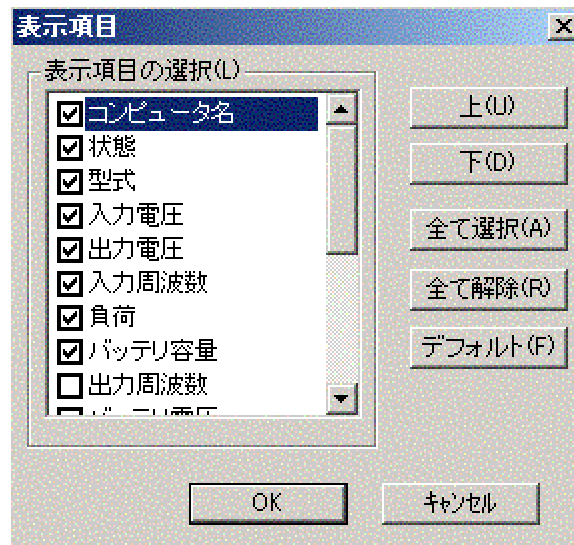


図 4-16 表示項目

- | | |
|-----------|---|
| [表示項目の選択] | 下記項目から UPS 一覧情報画面に表示する項目を選択します。
コンピュータ名、状態、型式、入力電圧、出力電圧、
入力周波数、負荷、バッテリー容量、出力周波数、
バッテリー電圧、バッテリー温度、バックアップ可能時間、
平均算出日数、周温平均値、バッテリー寿命、UPS 版数、
UPS エージェント版数、時間、UPS 製造業者 |
| [上] | 選択した項目の表示順番を上げます。 |
| [下] | 選択した項目の表示順番を下げます。 |
| [全て選択] | UPS 一覧情報画面に表示する項目をすべて選択します。 |
| [全て解除] | UPS 一覧情報画面に表示する項目をすべて解除します。
但し、「名前」の項目は解除されません。 |
| [デフォルト] | デフォルトの設定に戻します。 |
| [OK] | 設定を有効にして、ダイアログを閉じます。 |
| [キャンセル] | 変更された設定を無効にして、ダイアログを閉じます。 |

4.4. [UPS] メニューのコマンド

4.4.1. 新しいグループ

新規にグループを追加します。

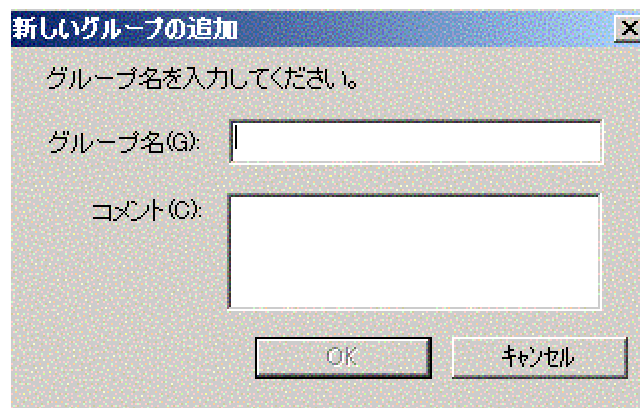


図 4-17 新しいグループ

[グループ名]	グループ名を入力します。
[コメント]	コメントを入力します。 この情報は、 <u>[グループプロパティ]</u> で確認することが出来ます。
[OK]	新しいグループを追加します。
[キャンセル]	ダイアログを閉じます。

重要

- ・ グループ名、コメントには、日本語の文字列を使用することができます。
- ・ 同一名称のグループ名は、登録できません。
- ・ グループ名には、“.”(ピリオド)は使用できません。
- ・ グループ名の最大文字数は、半角 63 文字(全角 31 文字)まで記述できます。
- ・ コメントの最大文字数は、半角 255 文字(全角 127 文字)まで記述できます。
- ・ 新規にグループを追加する場合は、データ収集(root)の[システム変更]権限が必要です。

4.4.2. 新しい UPS

新規に監視対象の UPS を追加します。

- 手動で監視対象の UPS を追加する場合は、下記画面でそれぞれの項目 (IP アドレス・UPS 名・UPS エージェントのタイプ) を入力してください。

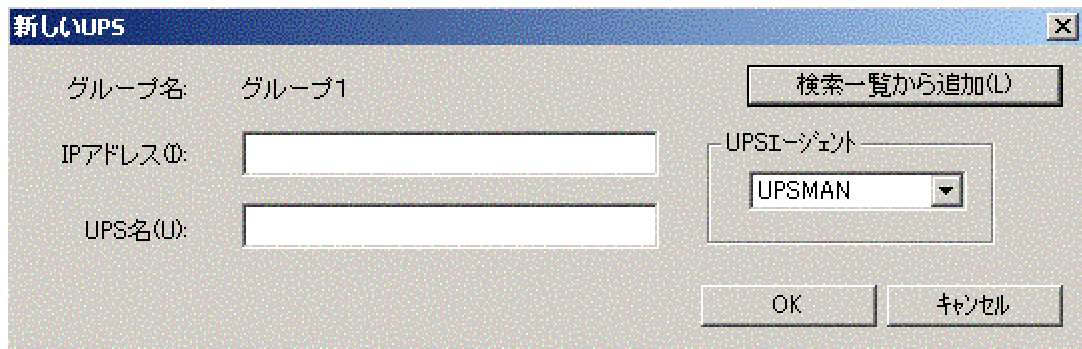


図 4-18 新しい UPS

[グループ名]	新規に UPS を登録するグループ名 (又はデータ収集のサーバ名) が表示されます。
[IPアドレス]	UPS エージェントの IP アドレスを設定します。
[UPS名]	UPS の名称を設定します。
[UPS エージェント]	<p>[検索一覧から追加] を利用しないで、手動によって登録する場合には、登録したい UPS エージェントのタイプを設定します。</p> <p>UPSMAN : UPS 管理プログラム Web/SNMP : Web/SNMP カード MIB (APC) : 他社製カード</p>
[検索一覧から追加]	データ収集モジュールが <u>検索対象</u> ネットワークから検索した UPS エージェントの検索一覧から追加ができます。
[OK]	設定を有効にして、ダイアログを閉じます。
[キャンセル]	設定を無効にして、ダイアログを閉じます。

重要

- ・ UPS 名の最大文字数は、半角 63 文字 (全角 31 文字) まで記述できます。
- ・ UPS 名には、“.” (ピリオド) は使用できません。
- ・ 同一名称の UPS 名は、登録できません。(大文字、小文字は区別しません。)

- 既に UPS エージェントが動作している場合は、[検索一覧からの追加]ボタンを押してください。
- **検索対象**ネットワーク内の UPS エージェント(IP アドレス、ホスト名、ロケーション名、UPS 型式、UPS エージェントのタイプ)が一覧表示されます。
- 追加する監視対象 UPS の[IP アドレス]にチェックをつけて、[OK]ボタンを押してください。
- 新しい UPS の登録処理については、**図 2-10 登録 UPS のパスワード確認**を参照ねがいます。

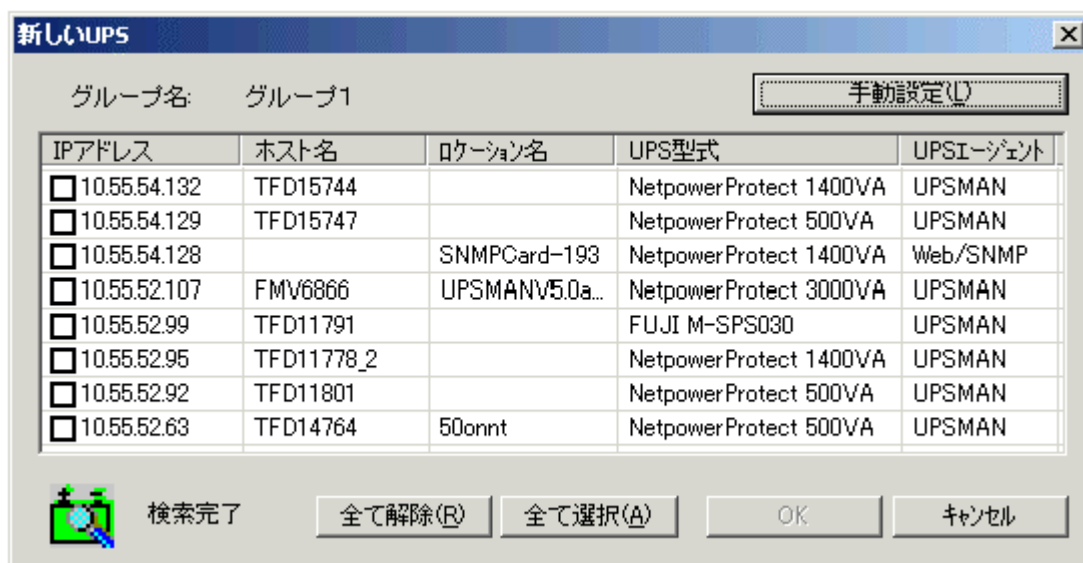


図 4-19 UPS 検索一覧

- | | |
|---------|--------------------------------|
| [手動設定] | 手動で UPS エージェントを追加するダイアログに戻ります。 |
| [全て解除] | 検索結果の全ての UPS を追加対象から外します。 |
| [全て選択] | 検索結果の全ての UPS を追加対象にします。 |
| [OK] | UPS エージェントを追加して、ダイアログを閉じます。 |
| [キャンセル] | UPS エージェントを追加しないで、ダイアログを閉じます。 |

重要

- UPS エージェントが動作していない場合は、[検索一覧からの追加]から UPS エージェントを検索できません。
- 「検索一覧から追加」では、他社製カードを追加することはできません。手動で登録してください。
- Web/SNMP カードを登録する場合は、事前に Web/SNMP カードの[SNMP 設定]の[SNMP マネージャと Read/Write 許可属性の設定]にデータ収集の[IP Address]を設定し、[Read]、[Write]にチェックを入れる必要があります。他社製カードを登録する場合も同様に、事前に他社製カードの SNMP 設定をする必要があります。
- データ収集モジュールと別のセグメントに UPS がある場合は、[設定]－[検索対象]－[UPS エージェント]で**検索対象**のネットワークを追加する必要があります。
- 新規に UPS を追加する場合は、追加するグループに対してシステム変更のアクセス権が必要です。













4.4.3. 確認済みにする

UPS が故障状態になると、アイコン等が点滅し、UPS が故障状態であることを示します。

システム構成画面上で点滅している UPS エージェントに対して[確認済みにする]を行うと、点滅が止まります。

点滅表示になるのは UPS に故障が発生した場合、故障から通常状態に復帰した場合と、システム構成画面の UPS エージェントに対して[未確認にする]を行った場合です。

(1) システム構成内のアイコン(UPS エージェント)が以下のように点滅を終了します。







- ・  ⇔  →  (通信断、バッテリー電圧異常、冷却ファン異常など)
- ・  ⇔  →  (停止中、過負荷など)
- ・  ⇔  →  (通信異常など)
- ・  ⇔  →  (正常)

“⇔” 記号 : 左右のアイコンの点滅を示します。







“→” 記号 : 左側の点滅表示から、右側の点灯状態に変化することを示します。

(2) システム構成内のアイコン(グループ)が以下のように点滅を終了します。

グループが未選択状態

- ・  ⇔  →  (正常状態)
- ・  ⇔  →  (故障状態)

グループが選択状態

- ・  ⇔  →  (正常状態)
- ・  ⇔  →  (故障状態)

(3) UPS 一覧情報では、文字の色が以下ようになります。

「青色 ⇔ 灰色」の状態から「黒色」 (正常状態)

「赤色 ⇔ 灰色」の状態から「赤色」 (故障状態)

(4) [確認済みにする]を行うと、アウトプット画面にある「故障情報」の「承認ユーザ」の所に承認したユーザ名および[承認時刻]が表示され、[UPS 名]のチェックボックスにチェックが入ります。

重要		
・ [承認時刻]、[承認ユーザ]は、重故障などの承認の必要な事象のみ表示されます。 以下に承認の必要な事象(重故障など)を示します。		
1) バッテリー電圧低下	2) 温度異常	3) 起動時入力異常
4) 出力電圧異常	5) バッテリー電圧異常	6) 中間電圧異常
7) 冷却ファン異常	8) バッテリー異常	9) バッテリーテスト異常













4.4.4. 未確認にする

UPS の故障確認状態を未確認状態に戻します。

故障を未確認状態に戻した場合、アイコン等が再度、点滅を開始します。

点滅表示になるのは UPS に故障が発生した場合、故障から通常状態に復帰した場合と、システム構成画面の UPS エージェントに対して[未確認にする]を行った場合です。

(1) システム構成では、アイコン(UPS エージェント)が以下のように点滅を開始します。

- ・  →  ⇄  (通信断、バッテリー電圧異常、冷却ファン異常など)
- ・  →  ⇄  (停止中、過負荷など)
- ・  →  ⇄  (通信異常など)
- ・  →  ⇄  (正常)

“⇄” 記号 : 左右のアイコンの点滅を示します。

“→” 記号 : 左側の点灯状態から、右側の点滅表示に変化することを示します。

(2) システム構成内のアイコン(グループ)が以下のように点滅を開始します。

グループが未選択状態

- ・  →  ⇄  (正常状態)
- ・  →  ⇄  (故障状態)

グループが選択状態

- ・  →  ⇄  (正常状態)
- ・  →  ⇄  (故障状態)

(3) UPS 一覧情報では、文字の色が交互に変化します。

「黒色」の状態から「青色 ⇄ 灰色」 (正常状態)

「赤色」の状態から「赤色 ⇄ 灰色」 (故障状態)

重要

- ・ [確認済みにする]、[未確認にする]のコマンドは、システム構成画面で選択されている UPS エージェントに対して実行されます。(UPS 一覧情報画面やアウトプット画面の故障情報で選択されている UPS エージェントに対しては実行されません)
- ・ [確認済みにする]、[未確認にする]のコマンドは、故障情報の個別事象に対して指定することはできません。

4.4.5. 新しい機器

システム構成画面の UPS エージェントの下に接続機器情報を追加します。

この情報は、UPS に接続している機器を手動で追加し、運用時の管理情報としてご利用ください。

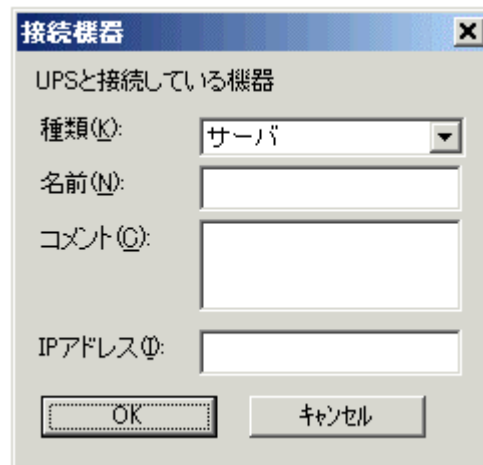


図 4-20 接続機器

[種類]	機器の種類を指定します。 (種類は「サーバ」と「ハブ」の2種類あります。)
[名前]	機器の名称を入力します。
[コメント]	機器に関する補足説明を記述します。
[IP アドレス]	機器「サーバ」の IP アドレスを入力します。 接続機器に <u>ping</u> を送信するときに使用します。
[OK]	機器を追加して、ダイアログを閉じます。
[キャンセル]	機器を追加しないで、ダイアログを閉じます。

重要
<ul style="list-style-type: none">・ 機器の名前、コメントには、日本語の文字列を使用することができます。・ 機器の名前には、“.”(ピリオド)は使用できません。・ 機器の名前の最大文字数は、半角 63 文字(全角 31 文字)まで記述できます。・ コメントの最大文字数は、半角 255 文字(全角 127 文字)まで記述できます。・ 機器の種類が「ハブ」の場合、[IP アドレス]は入力できません。

4.4.6. 削除

システム構成に登録されているグループ、UPS エージェントあるいは接続機器の中で、削除したいものを選択後、[削除]コマンドを実行すると削除されます。

4.4.7. プロパティ

選択対象のプロパティを表示します。

(1) [グループプロパティ]

グループ(又はデータ収集)のプロパティが表示されます。

グループプロパティ

グループ名(G): グループ1

説明(O):

アクセス権

☒ システム変更 ☒ UPSエージェント操作

スケジュール

マスタスケジュール管理UPS名:
無停電原装置

マスタ管理UPSを変更したい場合は、「変更」ボタンをクリックしてください。 変更(M)

シャットダウン

最終シャットダウンUPS名:
SNMPCard-193

最終シャットダウンUPSを変更したい場合は、「変更」ボタンをクリックしてください。 変更(L)

OK キャンセル

図 4-21 グループプロパティ

重要

- ・ データ収集のグループプロパティでは、グループ名はサーバ名と表示されます。
- ・ データ収集(サーバ名)のデフォルトは、“root”です。
- ・ グループ名(またはサーバ名)、説明には、日本語の文字列を使用することができます。
- ・ グループ名(またはサーバ名)には、“.”(ピリオド)は使用できません。
- ・ 同一名称のグループ名は、登録できません。
- ・ グループ名の最大文字数は、半角 63 文字(全角 31 文字)まで記述できます。
- ・ 説明の最大文字数は、半角 255 文字(全角 127 文字)まで記述できます。
- ・ 各グループに対するアクセス権限は、このダイアログでは変更できません。4.2.6 ユーザー一覧の アクセス権変更で行ってください。
- ・ Web/SNMP カード、他社製カードを、マスタスケジュール管理 UPS にはできません。
- ・ 「最終シャットダウン UPS」とは、シャットダウン要求を最後に送信する対象の UPS エージェントであり、最後に電源が落ちるコンピュータではありません。

[グループ名]	グループ名が表示されます。
[説明]	説明が表示されます。
[アクセス権]	グループに対して設定されたアクセス権が表示されます。
スケジュール[変更]	スケジュール設定の読み出し先を設定します。 ここで選択された UPS エージェントが、グループ内の親となり、その他の UPS エージェントの[<u>スケジュール設定</u>]の読込先となります。

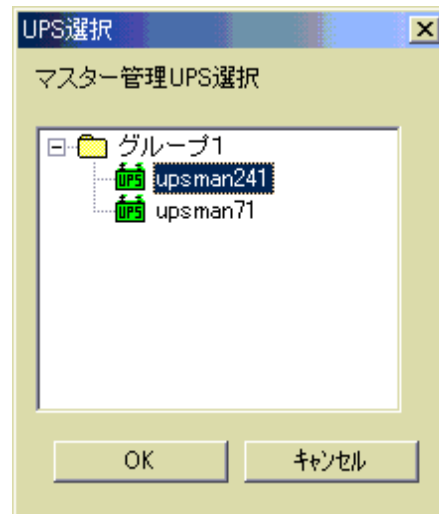


図 4-22 マスタ管理 UPS 選択

シャットダウン[変更]	[<u>シャットダウン</u>]を最後に行う UPS エージェントを設定します。 ここで選択された UPS エージェントが、グループ内で最後にシャットダウンする UPS エージェントとして設定されます。
-------------	--

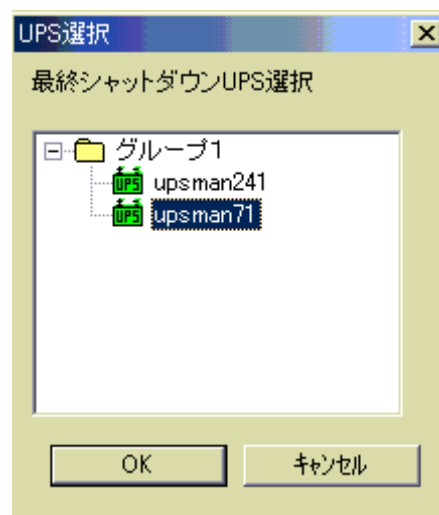


図 4-23 最終シャットダウン UPS 選択

[OK]	設定を有効にして、ダイアログを閉じます。
[キャンセル]	変更された設定を無効にして、ダイアログを閉じます。

(2) [UPS プロパティ]

UPS のプロパティが表示されます。



図 4-24 UPS プロパティ

[UPS 名]	UPS 名が表示されます。
[説明]	説明が表示されます。
[型式]	UPS 型式が表示されます。
[UPS エージェント]	UPS エージェントのタイプが表示されます。
[ホスト名]	UPS エージェントのタイプが UPSMAN の場合、そのコンピュータ名が表示されます。
[IP アドレス]	UPS エージェントの IP アドレスが表示されます。
[ポート番号]	UPS エージェントと通信するポート番号が表示されます。
[OK]	設定を有効にして、ダイアログを閉じます。
[キャンセル]	変更された設定を無効にして、ダイアログを閉じます。

重要

- ・ UPS 名、説明には、日本語の文字列を使用することができます。
- ・ UPS 名には、“.” (ピリオド) は使用できません。
- ・ 同一名称の UPS 名は、登録できません。
- ・ UPS 名の最大文字数は、半角 63 文字(全角 31 文字)まで記述できます。
- ・ 説明の最大文字数は、半角 255 文字(全角 127 文字)まで記述できます。

(3) [接続機器プロパティ]

機器のプロパティが表示されます。

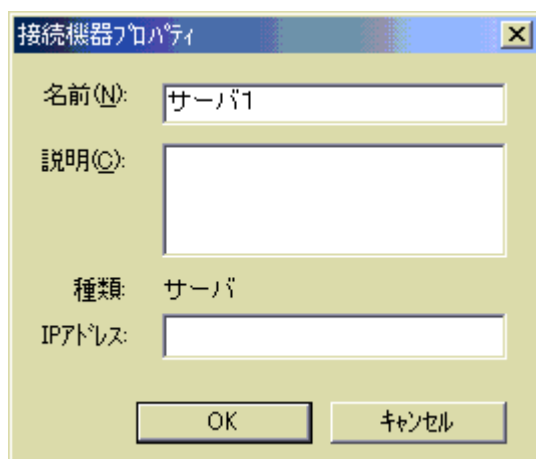


図 4-25 サーバ・プロパティ

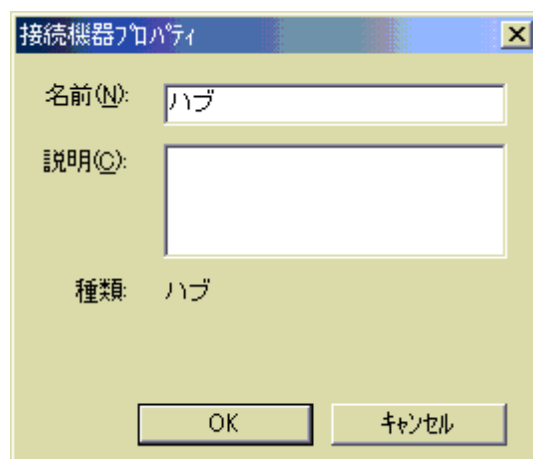


図 4-26 ハブ・プロパティ

[名前]	名前が表示されます。
[説明]	説明が表示されます。
[種類]	種類(サーバ、又はハブ)が表示されます。
[IP アドレス]	種類が「サーバ」の場合、IP アドレスが表示されます。
[OK]	設定を有効にして、ダイアログを閉じます。
[キャンセル]	変更された設定を無効にして、ダイアログを閉じます。

重要

- ・ 機器の名前、説明には、日本語の文字列を使用することができます。
- ・ 機器の名前には、“.”(ピリオド)は使用できません。
- ・ 同一名称の機器の名前は、登録できません。
- ・ 機器の名前の最大文字数は、半角 63 文字(全角 31 文字)まで記述できます。
- ・ 説明の最大文字数は、半角 255 文字(全角 127 文字)まで記述できます。

4.4.8. スケジューラ設定

グループ又は、指定した UPS 管理プログラムに対してスケジュール設定を行います。
詳細は、5.2 「スケジューラ設定」について を参照願います。

重要
<ul style="list-style-type: none">・ スケジュール設定を行う場合は、グループに対してスケジュール設定の権限が必要です。・ UPS エージェントタイプが Web/SNMP カード、他社製カードの場合には、対応していません。

4.4.9. シャットダウン

グループ又は、指定した UPS エージェントに対してシャットダウン要求をします。
シャットダウンの要求を受けた UPS エージェントは、シャットダウンを開始します。
詳細は、5.4 「シャットダウン」について を参照願います。

重要
<ul style="list-style-type: none">・ シャットダウンを行う場合は、グループに対してスケジュール設定の権限が必要です。・ UPS エージェントタイプが他社製カードの場合には、対応していません。

4.4.10. 電源投入

グループ又は、指定した Web/SNMP カードに対して電源投入の要求をします。
電源投入の要求を受けた Web/SNMP カードは、出力停止中の UPS の出力を再開します。

重要
<ul style="list-style-type: none">・ 電源投入は Web/SNMP カードにのみ実行できます。・ 電源投入はネットワーク経由で実行されるため、ハブの電源を異なる UPS から供給する必要があります。

4.4.11. ping

UPS エージェントまたは、接続機器に対して ping コマンドを実行します。
ただし、接続機器には IP アドレスが設定されている必要があります。
(4.4.5 新しい機器 又は、4.4.7(3) [接続機器プロパティ] で設定してください。)

4.5. [設定] メニューのコマンド

4.5.1. 検索対象

検索を行う場合に必要対象ネットワークを設定します。

以下の2つの検索対象があります。

- 1) データ収集
- 2) UPS エージェント

それぞれに設定することで、対象のネットワークに対して検索を開始することが可能です。

データ収集の検索対象は、図 4-4 データ収集検索で使用されます。

UPS エージェントの検索対象は、図 4-19 UPS 検索一覧で使用されます。



図 4-27 検索対象

[IP アドレス]	検索対象となるネットワークの IP アドレスを入力します。
[追加]	[IP アドレス]に記述されてある内容を追加します。
[削除]	検索対象のネットワークを削除します。
[OK]	設定した内容を有効にし、ダイアログを閉じます。
[キャンセル]	設定した内容を無効にして、ダイアログを閉じます。

重要

- ・ 追加された[IP アドレス]の最後の桁は、0 になります。
- ・ [IP アドレス]の最大登録数は、4 つです。
- ・ 検索対象の[IP アドレス]が設定されていない場合は、そのソフトが動作している同一ネットワークを検索対象にします。
 - 1) データ収集の場合は、UPSView が動作しているコンピュータと同一のネットワークを検索します。

例: UPSView が動作しているコンピュータの IP アドレスが 10.10.10.10 の場合は、10.10.10.1～10.10.10.254 までで動作しているデータ収集を検索します。
 - 2) UPS エージェントの場合は、データ収集が動作している同一ネットワークを検索対象にします。

例: データ収集が動作しているコンピュータの IP アドレスが 10.10.11.100 の場合は、10.10.11.1～10.10.11.254 までで動作している UPS エージェントを検索します。

4.6. [ヘルプ] メニューのコマンド

4.6.1. NetpowerView GroupMGR のヘルプ

ヘルプの最初の画面を表示します。この画面から NetpowerView GroupMGR の操作手順やリファレンスなど関連情報の項目へジャンプしてヘルプを読むことができます。

ヘルプ項目を参照した後、最初の画面に戻るには、ヘルプ ウィンドウの[目次]ボタンを選択します。

4.6.2. バージョン情報

UPSView のバージョンや著作権などについての情報を表示します。

第5章 機能

5.1. 「ユーザ」について

NetpowerView GroupMGR には、2種類のユーザが存在します。

一つは、管理者です。管理者は NetpowerView GroupMGR に対して全ての権限を持ちます。

もう一つは、一般ユーザです。このユーザは追加／削除可能なユーザで、グループ毎に権限を設定できます。

管理者	NetpowerView GroupMGR に対して全ての権限を持ちます。 このユーザは削除できません。 一般ユーザの追加／削除が実行できる唯一の“ユーザ”です。
一般ユーザ	グループ毎にアクセス権限を設定できます。 アクセス権が存在しないグループに対しては、シャットダウンやスケジュール設定等が行えません。

重要

- ・ 管理者のデフォルトは“admin”です。
- ・ 管理者“admin”は、データ収集に“admin”でログインした後、すぐにユーザ名、パスワードの変更をすることを推奨致します。
- ・ 登録できるユーザは、管理者を含めて5ユーザです。
- ・ 管理者は1ユーザのみで、削除・追加はできません。

5.2. 「スケジュール設定」について

グループ又は、指定した UPS 管理プログラムに対してスケジュールの設定を行います。

- グループ内に Web/SNMP カード、他社製カードが登録されている場合は、下記メッセージが表示されます。Web/SNMP カード、他社製カードに対しては、個別にスケジュールを設定願います。

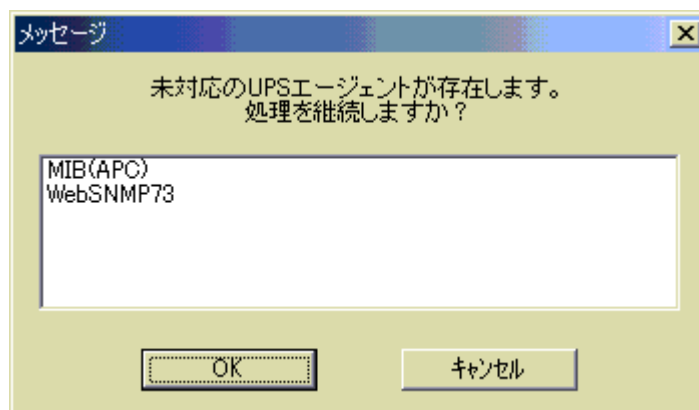


図 5-1 スケジュール設定時のメッセージ

- グループに対してスケジュールの設定を行う場合は、マスタUPS管理プログラムを指定します。
(UPS 管理プログラムを個別指定した場合は、下記ダイアログは表示されません。)

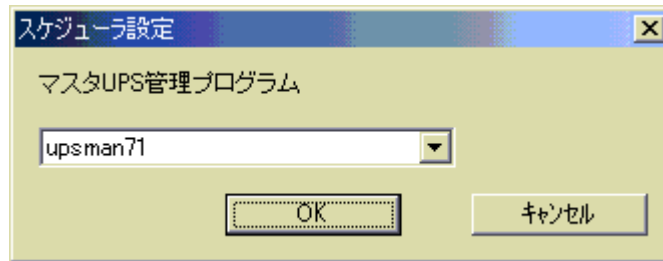


図 5-2 マスタUPS管理プログラム

- NetpowerView GroupMGR は、マスタUPS管理プログラムに指定された UPS 管理プログラムから、スケジュール設定の情報を獲得します。このスケジュール設定を元にスケジュールの編集を行い、スケジュールダイアログでスケジュールの設定を実行すると、NetpowerView GroupMGR は、グループ内の全ての UPS 管理プログラムに対して同じスケジュール設定を送信します。

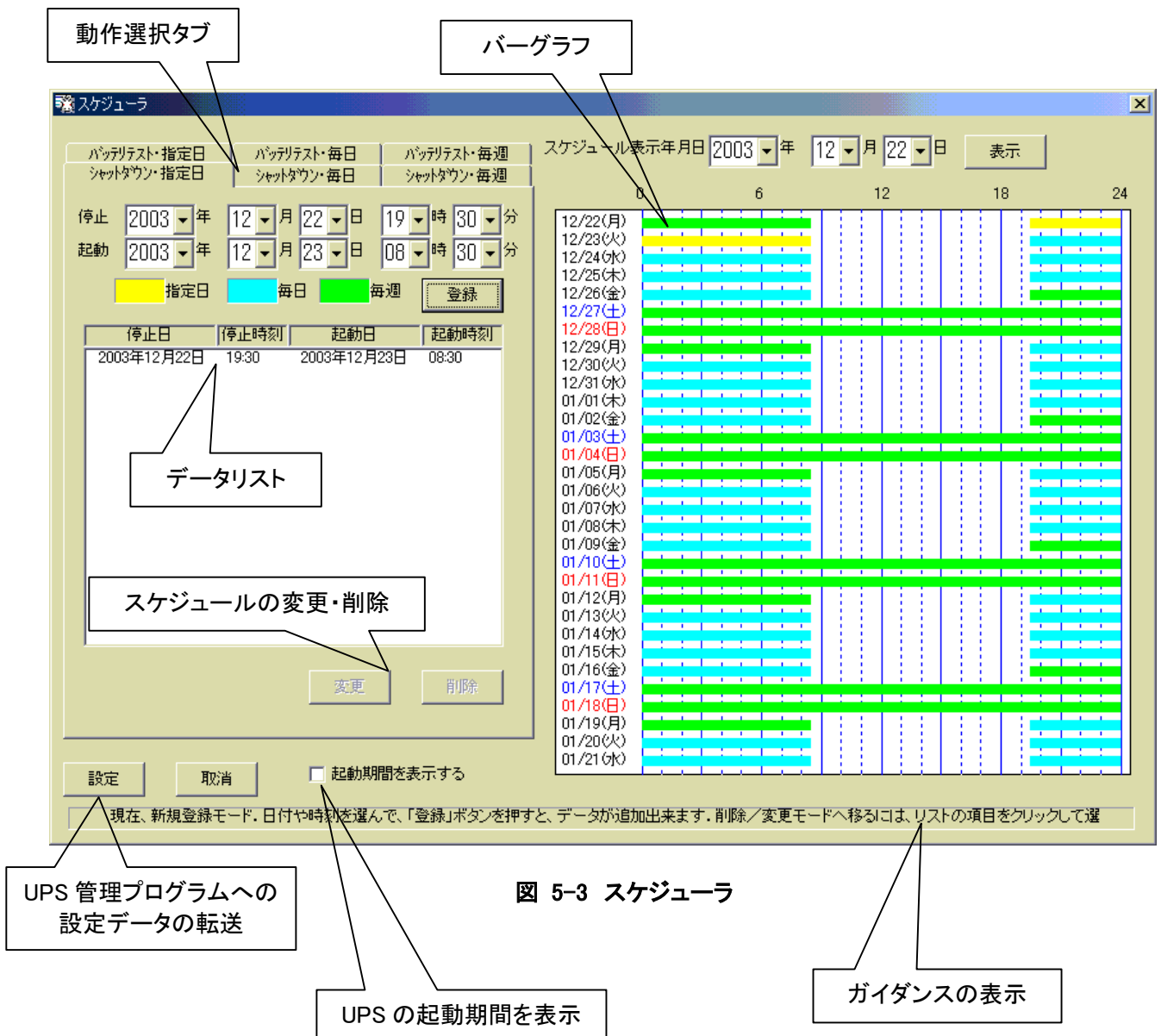


図 5-3 スケジューラ

[動作選択タブ]	左上にあるタブで設定するスケジュールデータの種類を選択します。シャットダウン(指定日、毎日、毎週)とバッテリーテスト(指定日、毎日、毎週)のスケジュールが選択できます。
[登録]	シャットダウン(指定日、毎日、毎週)の「起動・停止」時刻、又はバッテリーテスト(指定日、毎日、毎週)の「バッテリーテスト時刻」をスケジュールデータとして登録します。
[データリスト]	[登録]した停止時刻・起動時刻、又は、バッテリーテストの日付・時刻を表示します。
[変更]	[データリスト]のスケジュールデータを選択して、日付・時刻を変更することができます。
[削除]	[データリスト]のスケジュールデータを選択して、このボタンを押下すると、選択されたデータを削除することができます。
[設定]	[登録]、[変更]、[削除]した内容を有効にし、ダイアログを閉じます。
[取消]	[登録]、[変更]、[削除]した内容を無効にして、ダイアログを閉じます。
[表示]	「スケジュール表示年月日」に入力した年月日から、[バーグラフ]にスケジュールデータ表示します。
[バーグラフ]	「スケジュール表示年月日」から1ヶ月間のスケジュールデータを下記バーグラフの色で表示します。 指定日:黄色、毎日:水色、毎週:緑色
[起動期間を表示する]	[バーグラフ]への表示方法を変更します。 チェックなし:UPSの停止期間を表示します。 チェックあり:UPSの起動期間を表示します。
[ガイダンス]	スケジューラに関する設定・操作方法が表示されます。

重要

- ・ 過去の日付に対して、スケジュールの登録およびバーグラフの表示はできません。
- ・ スケジュール設定を行う場合は、グループに対してスケジュール設定の権限が必要です。
- ・ UPS エージェントタイプが Web/SNMP カード、他社製カードの場合には、対応しておりません。

5.3. 「詳細モニタ」について

UPS エージェントを選択し、右クリックで「詳細モニタ」を選択すると、各 UPS エージェントのモニタ画面が表示されます。

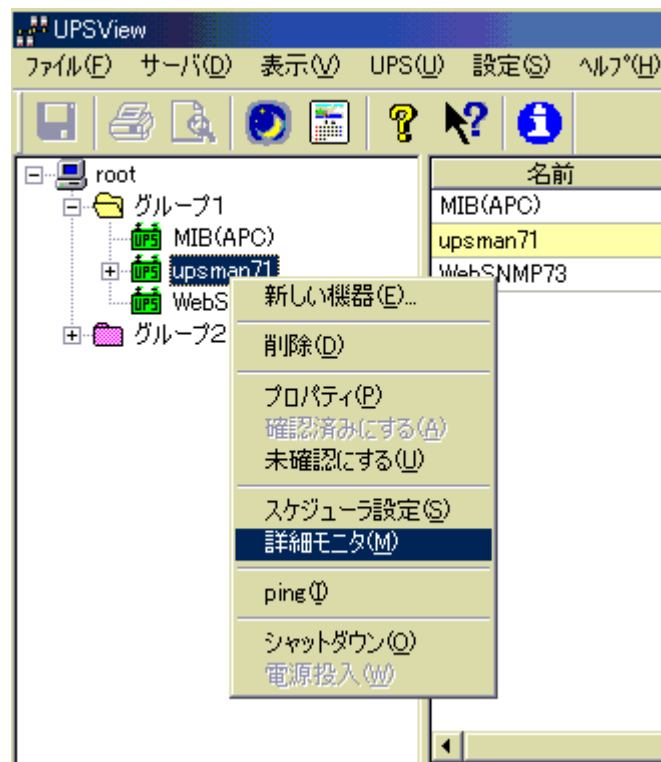


図 5-4 詳細モニタ

重要

- ・ UPS 管理プログラム(UPSMAN)のモニタ画面を起動するには、NetpowerView F のUPSモニタプログラム(UPSMON)をインストールする必要があります。
- ・ Web/SNMP カード、他社製カードのモニタ画面を起動するには、ブラウザがインストールされている必要があります。

5.4.「シャットダウン」について

グループ又は、指定した UPS エージェントに対してシャットダウン要求をします。

- グループ内に他社製カードが登録されている場合は、下記メッセージが表示されます。

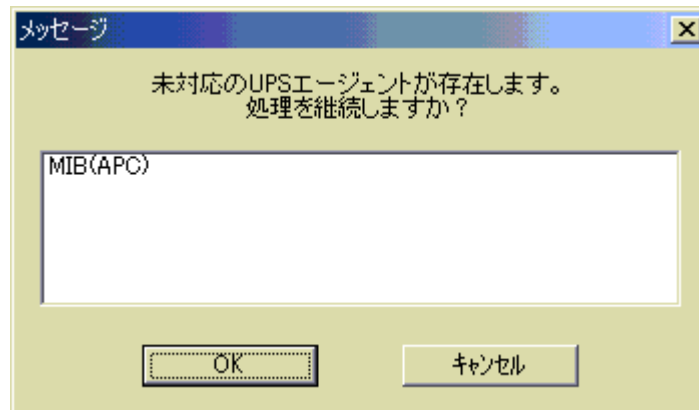


図 5-5 電源投入時のメッセージ

- OS のシャットダウン／UPS 停止の動作は、各 UPS エージェントに設定されている動作で行います。詳細は、各マニュアルを参照してください。

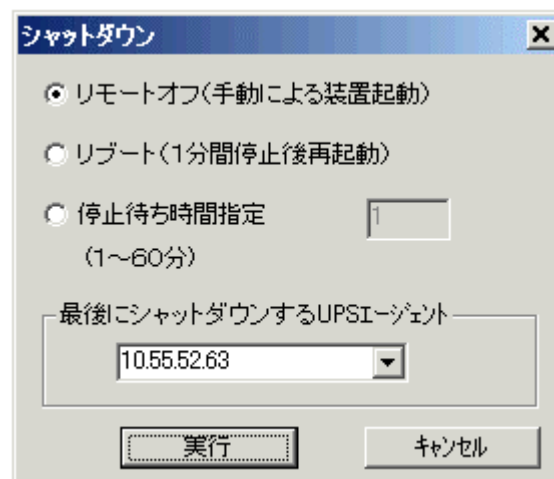


図 5-6 シャットダウン

[リモートオフ(手動による装置起動)]

リモートオフを実行すると、UPS エージェントのシャットダウン動作を実行します。
UPS の出力を再開する場合は、手動で UPS の起動する必要があります。

[リブート(1分間停止後再起動)]

リブートを実行すると、UPS エージェントのシャットダウン動作を実行します。
UPS の出力が停止して1分後に UPS の出力を再開します。

[停止待ち時間指定]

停止待ち時間指定を実行すると、UPS エージェントのシャットダウン動作を実行します。

UPS が停止した後、指定した時間後に UPS の出力を再開します。

設定可能な待ち時間は、1～60 分です。

[最後にシャットダウンする UPS エージェント]

データ収集が最後にシャットダウン要求を送信する UPS エージェントを選択してください。

指定された UPS エージェントは、グループ中で最後にシャットダウン動作を開始します。

グループ内にデータ収集が動作している場合などに、データ収集の動作しているコンピュータの IP アドレスを指定します。

[実行]

シャットダウンの動作を実行します。

[キャンセル]

シャットダウンの実行をしないで、このダイアログを閉じます。

重要

- ・ UPS 管理プログラムのシャットダウンには、NetpowerView F V5.0 以降が必要です。
- ・ 他社製カードに対しては、シャットダウンを実行できません。
- ・ リモートオフを行った後、UPS が停止状態で、UPS に対する入力電源に停電・復電があると、UPS の出力を再開します。
- ・ データ収集が動作しているコンピュータが、同じグループ内に存在する場合
データ収集が全ての UPS エージェントに対してシャットダウン要求を出す前に、UPS エージェントがデータ収集の動作しているコンピュータに対してシャットダウン動作を行うと、データ収集の動作が停止して、全ての UPS エージェントにシャットダウン要求を出せなくなります。
- ・ 「最後にシャットダウンする UPS エージェント」とは、コンピュータの電源が落ちる順番ではなく、データ収集がシャットダウン要求を最後に出す対象の UPS エージェントを指しています。

5.5.「電源投入」について

グループ又は、指定した Web/SNMP カードに対して電源投入を行います。

- グループ内に UPS 管理プログラム、他社製カードが登録されている場合は、下記メッセージが表示されます。

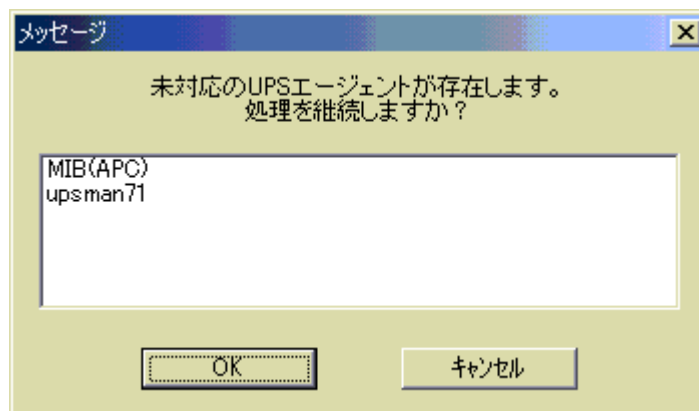


図 5-7 電源投入時のメッセージ

- 電源投入の実行確認のダイアログが表示されます。[はい]で電源を投入します。

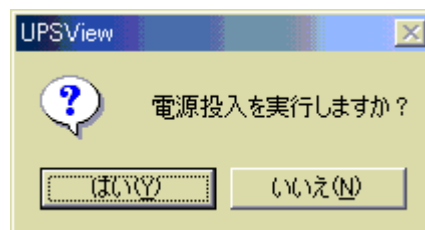


図 5-8 電源投入の実行確認メッセージ

重要
<ul style="list-style-type: none">電源投入は Web/SNMP カードにのみ実行できます。電源投入はネットワーク経由で実行されるため、ハブの電源を異なる UPS から供給する必要があります。

5.6. 「故障表示」について

UPS に故障等が発生したときの、UPSView のシステム構成画面、UPS 一覧情報画面上での表示状態を以下に示します。

表示	システム構成	UPS 一覧情報
正常	緑	黒
異常	赤＊	赤＊
通信断 (UPS)	赤	赤
バックアップ中	赤	赤
特定できないエラー	赤	赤
正常復帰	緑	黒
過負荷	赤	赤
停止中	黄	赤
通信復旧	緑	黒
バッテリー電圧低下	赤＊	赤＊
温度異常	赤＊	赤＊
起動時入力異常	赤＊	赤＊
出力電圧異常	赤＊	赤＊
バッテリー電圧異常	赤＊	赤＊
バッテリー電圧異常	赤＊	赤＊
バッテリー電圧異常	赤＊	赤＊
中間電圧異常	赤＊	赤＊
冷却ファン異常	赤＊	赤＊
バッテリーテスト異常	赤＊	赤＊
商用電源復旧	赤＊	赤＊
バッテリーテスト	緑	黒
バッテリーテスト NG	赤＊	赤＊
バッテリーテスト OK	緑	黒

“＊”は、この状態に変化した時、点滅表示になることを示します。

UPS に複数の事象が発生した場合、表示される色の優先度は以下の順番になります。

赤＞黄＞灰＞緑(黒)

点滅表示、表示色の詳細は、[4.4.3 確認済みにする](#) 及び [4.4.4 未確認にする](#) を参照してください。

5.7. SNMP

データ収集が SNMP 経由で情報を獲得する MIB について以下に説明します。

5.7.1. Web/SNMP カード

- Web/SNMP カードの情報獲得に使用するMIBを以下に示します。

OID	表示項目
.1.3.6.1.2.1.33.1.1.1.0	UPS 製造業者
.1.3.6.1.2.1.33.1.1.2.0	UPS 型式
.1.3.6.1.2.1.33.1.1.3.0	UPS 版数
.1.3.6.1.2.1.33.1.1.4.0	UPS エージェント版数
.1.3.6.1.2.1.33.1.1.6.0	ロケーション名 (図 2-9 UPS 選択画面)
.1.3.6.1.2.1.33.1.2.3.0	バックアップ可能時間
.1.3.6.1.2.1.33.1.2.4.0	バッテリー容量
.1.3.6.1.2.1.33.1.2.5.0	バッテリー電圧
.1.3.6.1.2.1.33.1.2.7.0	バッテリー温度
.1.3.6.1.2.1.33.1.3.3.1.2.1	入力周波数
.1.3.6.1.2.1.33.1.3.3.1.3.1	入力電圧
.1.3.6.1.2.1.33.1.4.2.0	出力周波数
.1.3.6.1.2.1.33.1.4.4.1.2.1	出力電圧
.1.3.6.1.2.1.33.1.4.4.1.5.1	負荷
.1.3.6.1.4.1.1356.1.2.6.0	バッテリー寿命

- UPS 状態の判定に使用するMIBを以下に示します。

	状態	判断条件
1	通常運転中	enterprises.1356.1.4.1 = 2
2	バックアップ運転中	enterprises.1356.1.4.1 = 3
3	UPS 出力停止中	enterprises.1356.1.4.1 = 5
4	シリアル通信断	enterprises.1356.1.7.2 = 1 かつ enterprises.1356.1.7.3 = 0 かつ enterprises.1356.1.7.4 = 0 かつ enterprises.1356.1.7.5 = 0 かつ enterprises.1356.1.7.6 = 0
5	故障	enterprises.1356.1.7.1 = 1
6	停電中バッテリー電圧低下	enterprises.1356.1.7.3 = 1 かつ enterprises.1356.1.2.1 = 3
7	過負荷	enterprises.1356.1.7.4 = 1
8	周温異常	enterprises.1356.1.7.6 = 1
9	正常	4～8が発生していない時

5.7.2. 他社製カード

- 他社製カードの情報獲得に使用するMIBを以下に示します。

OID	表示項目	備考
.1.3.6.1.4.1.318.1.1.1.1.1.0	UPS 型式	
.1.3.6.1.4.1.318.1.1.1.1.1.2.0	ロケーション名	図 2-10 登録 UPS のパスワード確認
.1.3.6.1.4.1.318.1.1.1.2.2.3.0	バックアップ可能時間	
.1.3.6.1.4.1.318.1.1.1.2.2.1.0	バッテリー容量	
.1.3.6.1.2.1.33.1.2.5.0	バッテリー電圧	
.1.3.6.1.2.1.33.1.2.7.0	バッテリー温度	
.1.3.6.1.4.1.318.1.1.1.3.2.4.0	入力周波数	
.1.3.6.1.4.1.318.1.1.1.3.2.1.0	入力電圧	
.1.3.6.1.4.1.318.1.1.1.4.2.2.0	出力周波数	
.1.3.6.1.4.1.318.1.1.1.4.2.1.0	出力電圧	
.1.3.6.1.4.1.318.1.1.1.4.2.3.0	負荷	
.1.3.6.1.4.1.318.1.1.1.4.1.1.0		PsBasicOutputStatus: UPS 状態判断用

- UPS 状態の判定に使用するMIBを以下に示します。(PsBasicOutputStatus の値)

状態	状態説明	判断条件
正常	using acceptable input voltage to provide output voltage	PsBasicOutputStatus = 2
バックアップ 運転中	using battery power to provide output voltage	PsBasicOutputStatus = 3
停止中	waiting for a defined period of time to pass before supplying output power to its load equipment	PsBasicOutputStatus = 5
故障	the Matrix-UPS or Symmetra was placed into its bypass mode using SNMP, PowerChute plus or PowerNet Manager	PsBasicOutputStatus = 6
停止中	turned off	PsBasicOutputStatus = 7
故障	the Matrix-UPS or Symmetra was placed into its bypass mode using the switch at the UPS	PsBasicOutputStatus = 9
故障	the Matrix-UPS or Symmetra placed itself into bypass mode in response to a hardware problem	PsBasicOutputStatus = 10
停止中	waiting until the input power returns to an acceptable level before it provides output power to its load equipment	PsBasicOutputStatus = 11

第6章 トラブルシューティング

1) UPS を追加する場合、UPS エージェントの検索を行ったが、UPS エージェントが発見できなかった

- 検索対象ネットワークに正しくUPS エージェントが動作しているネットワークが設定されているか確認してください。
- UPS 管理プログラムのポート番号が 5769 (デフォルト) 以外の場合は、検索できません。UPS 管理プログラムの設定を確認してください。

2) Web/SNMP カードを追加したいが、UPS の情報が表示されない(または登録ができない)

- データ収集は、SNMP プロトコルを使用して Web/SNMP カードに UPS の情報を獲得します。そのため、データ収集が動作しているコンピュータが Web/SNMP カードに対して読み込みが出来る状態にする必要があります。
- 各 UPS エージェントタイプを登録するときに使用されているデフォルトのパスワード(コミュニティ)は、以下の通りです。

UPSMAN	FUJI(大文字です。)
Web/SNMP カード	public
他社製カード	public

3) Web/SNMP カードを登録して正常に動作していたのに急に通信異常となったのは何故？

- 正常に通信が出来ていたのに急に通信異常になる原因は、Web/SNMP カード側の設定が変更された可能性があります。Web/SNMP カードであれば、「UPS Web Monitoring」より「SNMP マネージャと Read/Write 許可属性の設定」を見直してみてください。

4) UPSView 上では、Web/SNMP カードの状態が「通信異常」なのに電源投入・シャットダウンができるのは何故？

- 上記にも記述していますが、データ収集は、SNMP プロトコルを使用して Web/SNMP カード(UPS)の情報を取得しています。何らかの影響で、「通信異常」が発生した状態(SNMP プロトコル通信ができない状態)場合、情報は取得できなくなります。しかし、電源投入やシャットダウンは、TCP (Transmission Control Protocol)を利用した独自プロトコルにより電源投入・シャットダウンが行えます。

5) コメントには最大文字数 255 文字(半角)入力可能と言っているのに、改行を入れると最大文字数入力できないのは何故？

- コメントには改行が使用できますが、改行は 2 文字分(2 バイト)のサイズが必要です。改行を入力した場合は、表示される文字数は、255 文字以下になります。

6) UPS エージェントを「検索一覧から追加」するときに他社製カードが検索されないのは何故？

- 現状では、「検索一覧から追加」によって、他社製カードを追加することはできません。
手動【IP アドレス、UPS 名を入力、UPS エージェントタイプを MIB(APC)】で登録してください。

7) このマニュアル内で「アクティブ」という表現を使っていますが、どのような意味なのでしょうか？

- 一言で言えば、「使える状態にあること」です。複数のウィンドウが開いている状態で、作業中のウィンドウを「アクティブなウィンドウ」と呼んでいます。

8) UPS エージェントを手動で追加しようとした時に、誤って違う UPS エージェントタイプを設定してしまい、

UPS エージェントの登録ができない。

- UPS エージェントのタイプが違う UPS を登録しようとしても登録はできません。一度、ダイアログのキャンセルをして頂き、始めから設定し直してください。

9) NetpowerView GroupMGR をインストール中に「MGMTAPI.DLL が見つかりません。」というエラーが発生します。なぜでしょうか？

- 「MGMTAPI.DLL」が存在しないために発生します。ネットワークサービスに SNMP サービスを追加することでこのエラーを回避できます。又、この時、SNMP サービスは起動しなくても構いません。

第7章 電子マニュアル 保存先

1) NetpowerView GroupMGR インストール・ガイド

CD-ROM の ¥DOC¥インストール・ガイド.pdf を参照して下さい。

2) NetpowerView GroupMGR ユーザーズ・ガイド

CD-ROM の ¥DOC¥ユーザーズ・ガイド.pdf を参照して下さい。

Copyright (c) 2003 Fuji Electric FA Components & Systems Co., Ltd.
All rights reserved.

<http://www.fujielectric.co.jp/fcs/jpn/mups/>